

CSSnITE

CSS Nite LP57

All About

NO

2018.6.30 (±)

ディレクターが考える XDの導入・活用方法

栄前田 勝太郎

有限会社リズムタイプ
プランナー／ディレクター



エイマエダ カツタロウ

@katsutaro



ディレクターです



@katsutaro

現在やっていること

- プロジェクトマネジメント
- サービスデザイン
- Webサービスのグロースハック
- サービス／プロジェクトの改善
- チームビルディング
- ワークショップデザイン

ディレクションの本も書きました

NEW!



リズムタイプという会社



RHYTHMTYPE

リズムタイプという会社

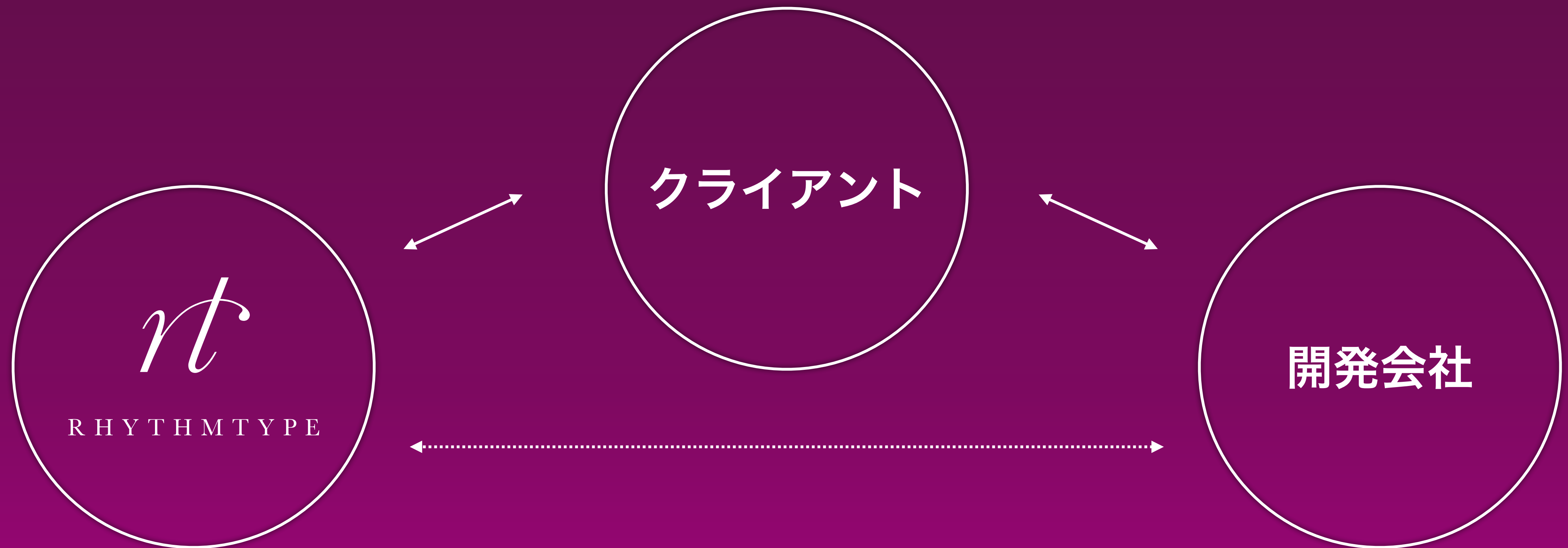
ディレクター
2人

エンジニア
1人

デザイナー
1.5人



弊社のプロジェクト体制



クライアントと直接の取引が基本

弊社の制作フローとXD利用シーン

企画	要件定義	仕様設計	デザイン	実装	運用
----	------	------	------	----	----



ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

セッションの目的とゴール

目的

「XDの導入・活用の価値を伝える」

ゴール

「XDを導入しない理由はない」

ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

XD、便利ですね？

XDができること

デザイン

プロト
タイピング

イメージの
共有

制作フローの効率化

コミュニケーション

エクスペリエンス・デザイン

X D



そんな便利なXDですが、
クライアントから見た場合は
どうでしょうか？

クライアントのリテラシーの差



プロトタイプ
いいよね！



プロトタイプ
おいしいの？

クライアントの熱量の違い



このツール、
いいですね！



新しいツール、
いらないよ？

クライアントのリテラシーや
熱量には幅があります

クライアントの気持ち、
姿勢を把握して、
それらに見合った対応が必要



負荷を下げたい

新しいツールを増やしたくない

社内用にドキュメントを作りたくない

確認・検討に時間かけたくない

これはクライアントだけではなく、
社内でも同様の場合があります

ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

5つの導入ケース

1. プロジェクト初期から使い始める
2. 既存サイトをXDで再現する
3. 既存のワークフローに部分的に組み込む
4. CMS設計のイメージを伝える
5. 設計書+プロトタイプをまとめて作る

導入ケース1

プロジェクト初期から使い始める

ケース1：プロジェクト初期から使い始める

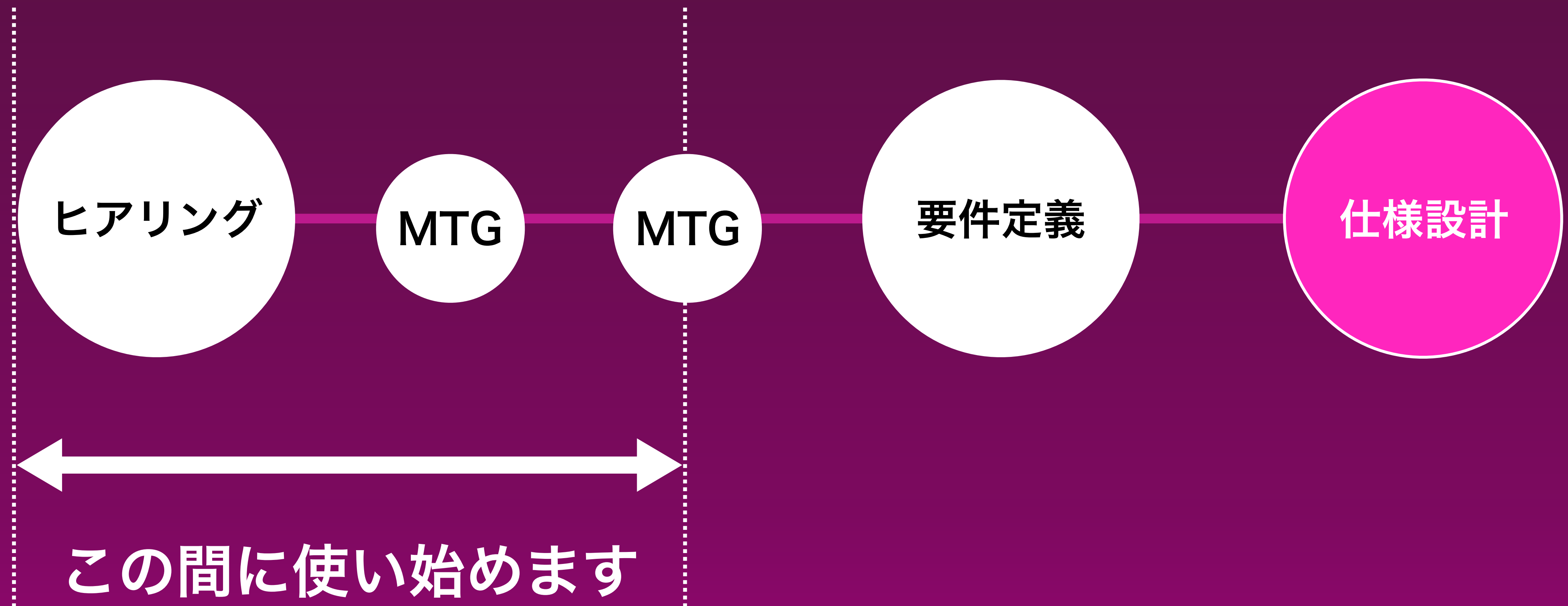
想定シーン

プロジェクト初期に
サイト構成やフローについての話をするとき

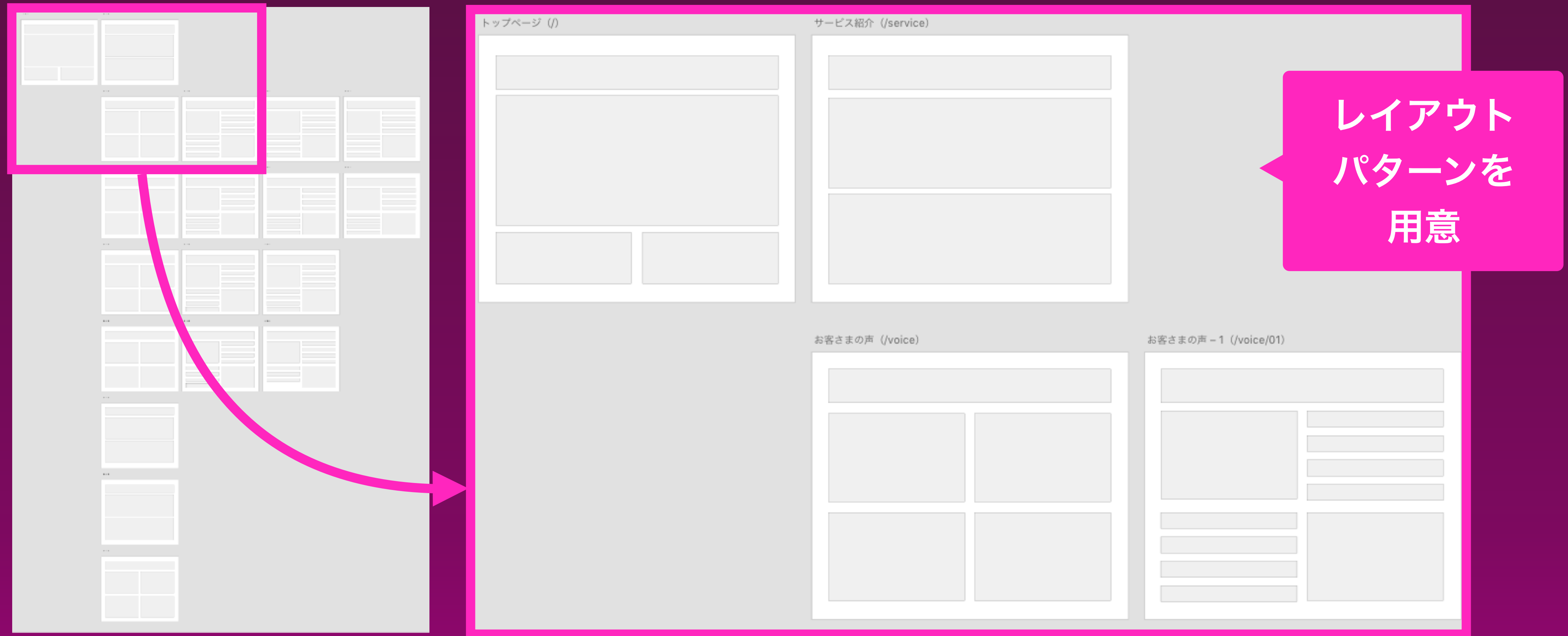
導入結果

「イメージしやすかった、伝わりやすかった
話した内容がその場で確認できてよかった」

ケース1：プロジェクト初期から使い始める

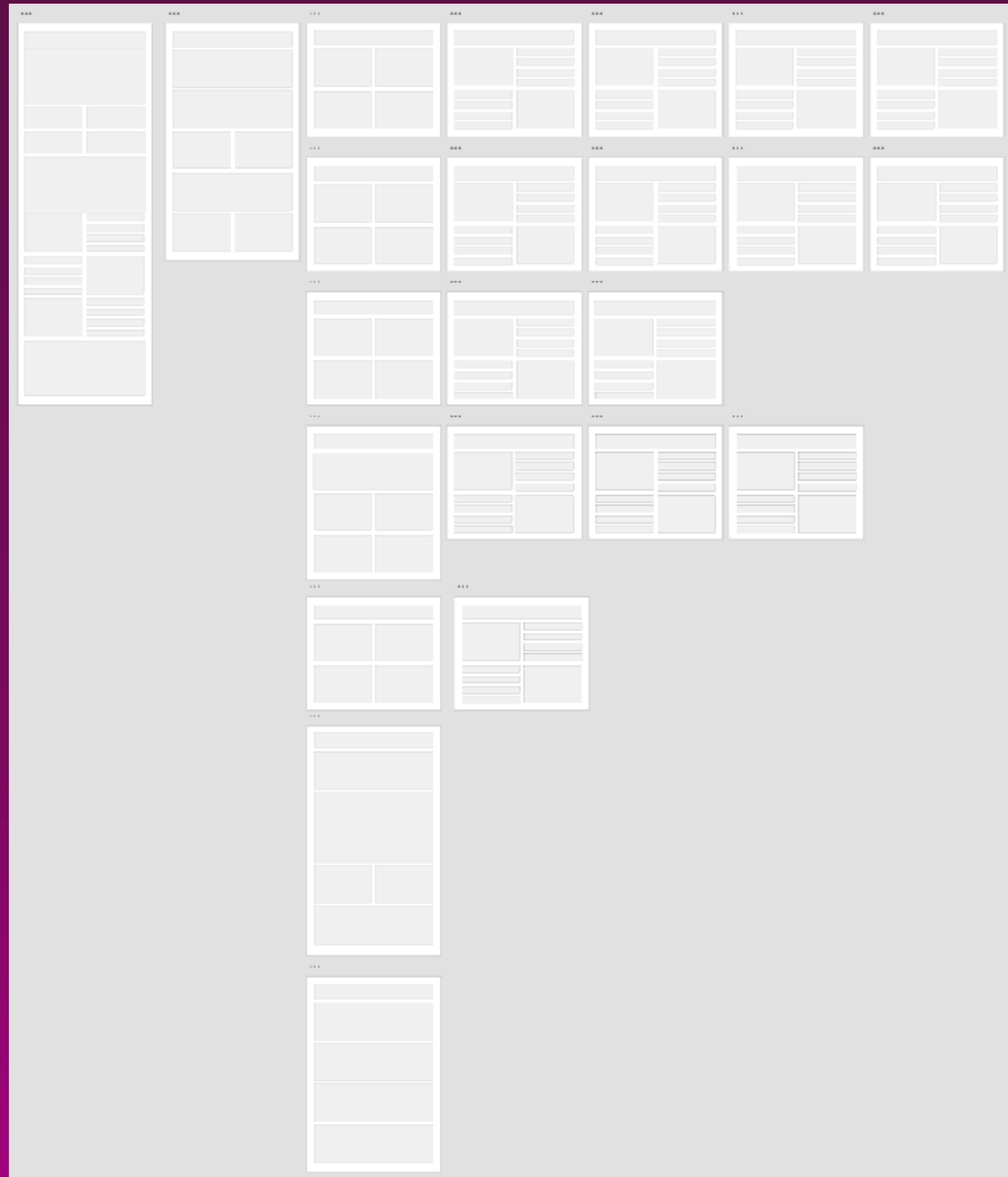


ケース1：プロジェクト初期から使い始める



打ち合わせ前に用意しておく

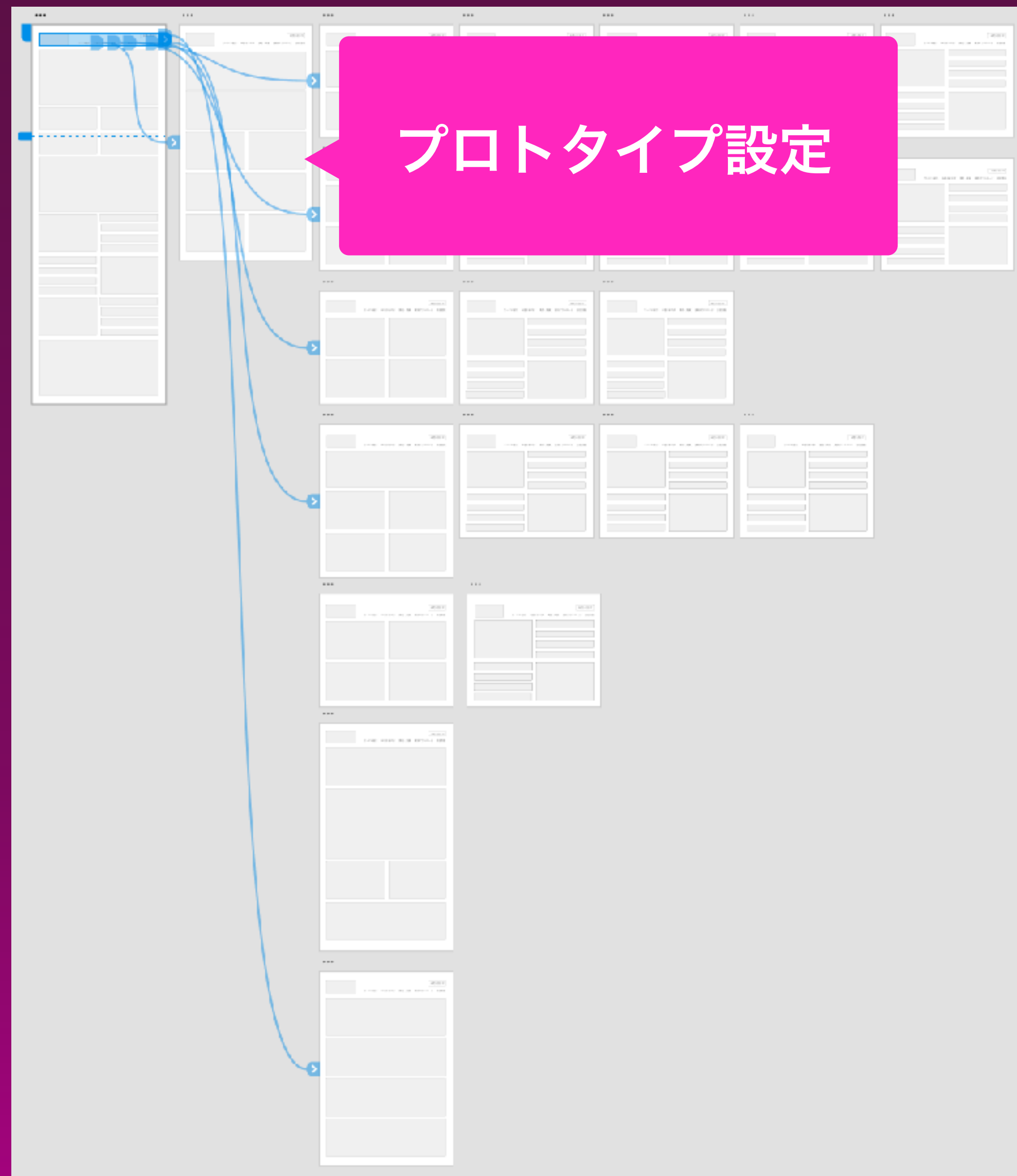
ケース1：プロジェクト初期から使い始める



適宜、ページを追加したり、
ページの構成要素を配置

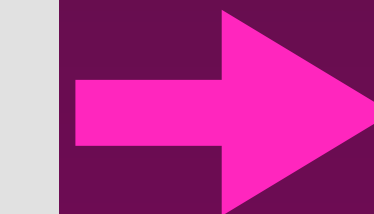
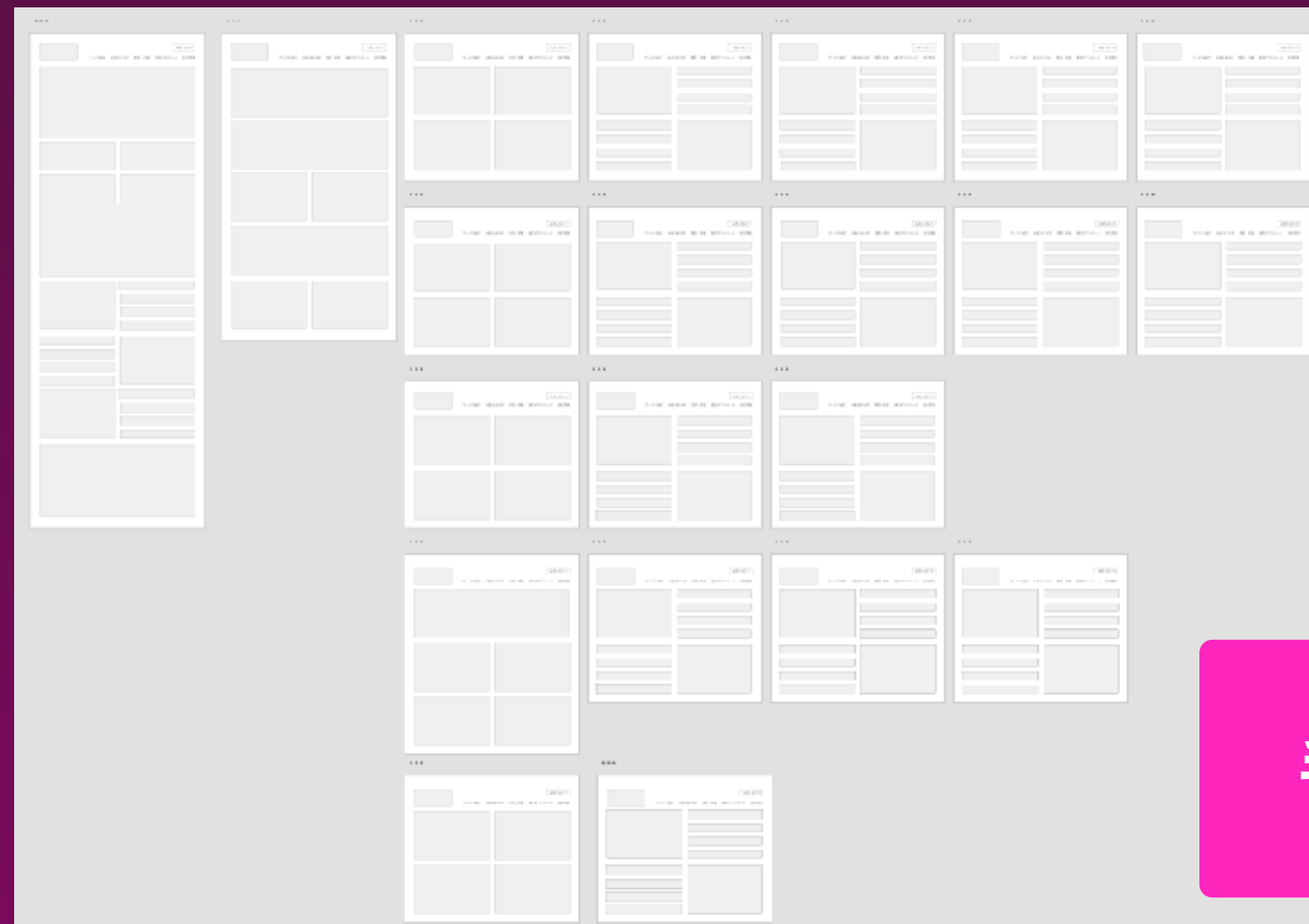
クライアントと話をしながら
その場で反映していく

ケース1：プロジェクト初期から使い始める



プロトタイプ設定をすると、
共有・確認がしやすい

ケース1：プロジェクト初期から使い始める



手動です

第一階層	第二階層	第三階層	ディレクトリ名	サブディレクトリ名	移行 / 新規	デザイン	原稿
トップページ	企業概要・沿革	企業概要・沿革	/		新規	○	-
		「環境経営」の理念	/style/		新規	○	○
		「環境経営」の理念		/about/	新規	○	○
		「環境経営」の理念		/strategy/	新規	○	○
お客様の声	よくあるご質問	よくあるご質問		/service/	新規	○	○
		よくあるご質問		/faq/	新規	○	○
		よくあるご質問	/stories/		移行	○	○
		よくあるご質問		/story01/	移行	-	-
事例・実績	事例・実績	事例・実績		/story02/	移行	-	-
		事例・実績		/story03/	移行	-	-
		事例・実績		/story04/	移行	-	-
		事例・実績		/story05/	移行	-	-
		事例・実績		/story06/	移行	-	-
		事例・実績		/story07/	移行	-	-
		事例・実績	/projects/		移行	○	-
		事例・実績		/works/cat/offices/	移行	-	-
		事例・実績		/works/cat/rd/	移行	-	-
		事例・実績		/works/cat/hotels/	移行	-	-
		事例・実績		/works/cat/urban/	移行	-	-
		事例・実績		/works/cat/lcm/	移行	-	-
導入の流れ	会社案内	導入の流れ		/works/cat/production/	移行	-	-
		会社案内		/works/cat/distributing/	移行	-	-
		会社案内		/works/cat/financial/	移行	-	-
		会社案内		/works/cat/data_centers/	移行	-	-
		会社案内		/works/cat/medical/	移行	-	-
		会社案内		/works/cat/educational/	移行	-	-
		会社案内		/works/cat/commercial/	移行	-	-
		会社案内		/works/cat/public/	移行	-	-
		会社案内	/introduction/		新規	○	-
		会社案内	/company/		新規	○	×
プレスリリース	お知らせ	企業理念		/policy/	移行	×	○
		会社概要		/outline/	移行	×	○
		アクセス		/access/	移行	×	○
		プレスリリース	/press/		新規	×	-
		お知らせ	/info/		移行	×	-
		お知らせ			移行	×	-

XDのサイトマップから、
ファイルリストをつくる

ケース1：プロジェクト初期から使い始める

 ポイント

クライアントに新しいツール
であることを意識させずに導入する

導入ケース2

既存サイトをXDで再現する

ケース2：既存サイトをXDで再現する

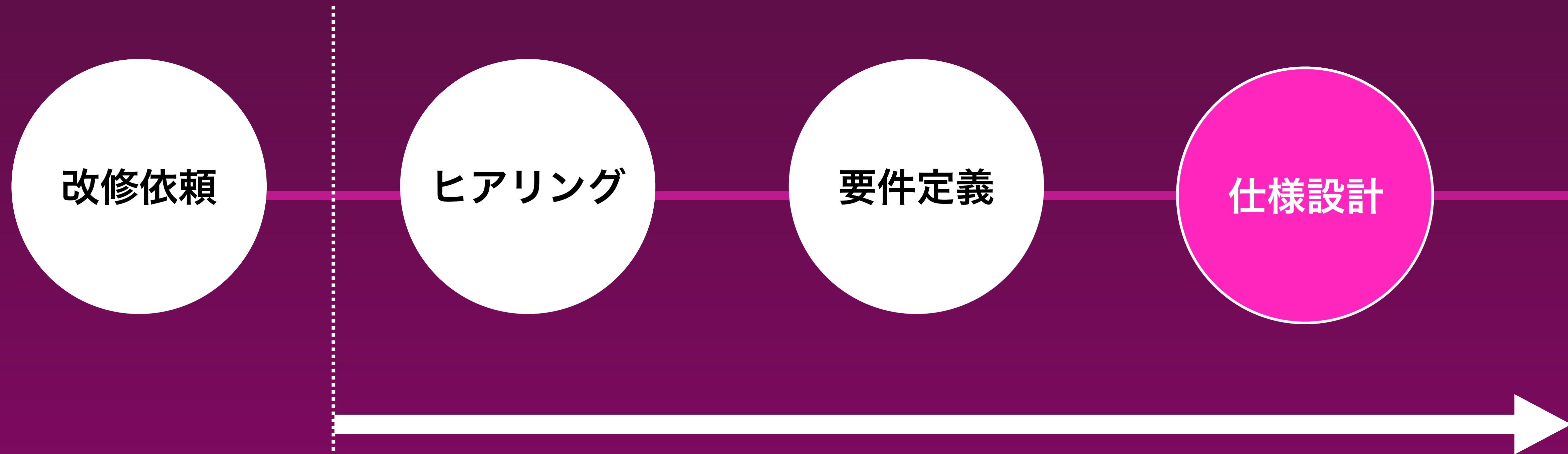
想定シーン

- ・ 既存サイトの部分改修を検討するとき
- ・ 新規コンテンツを追加するとき

導入結果

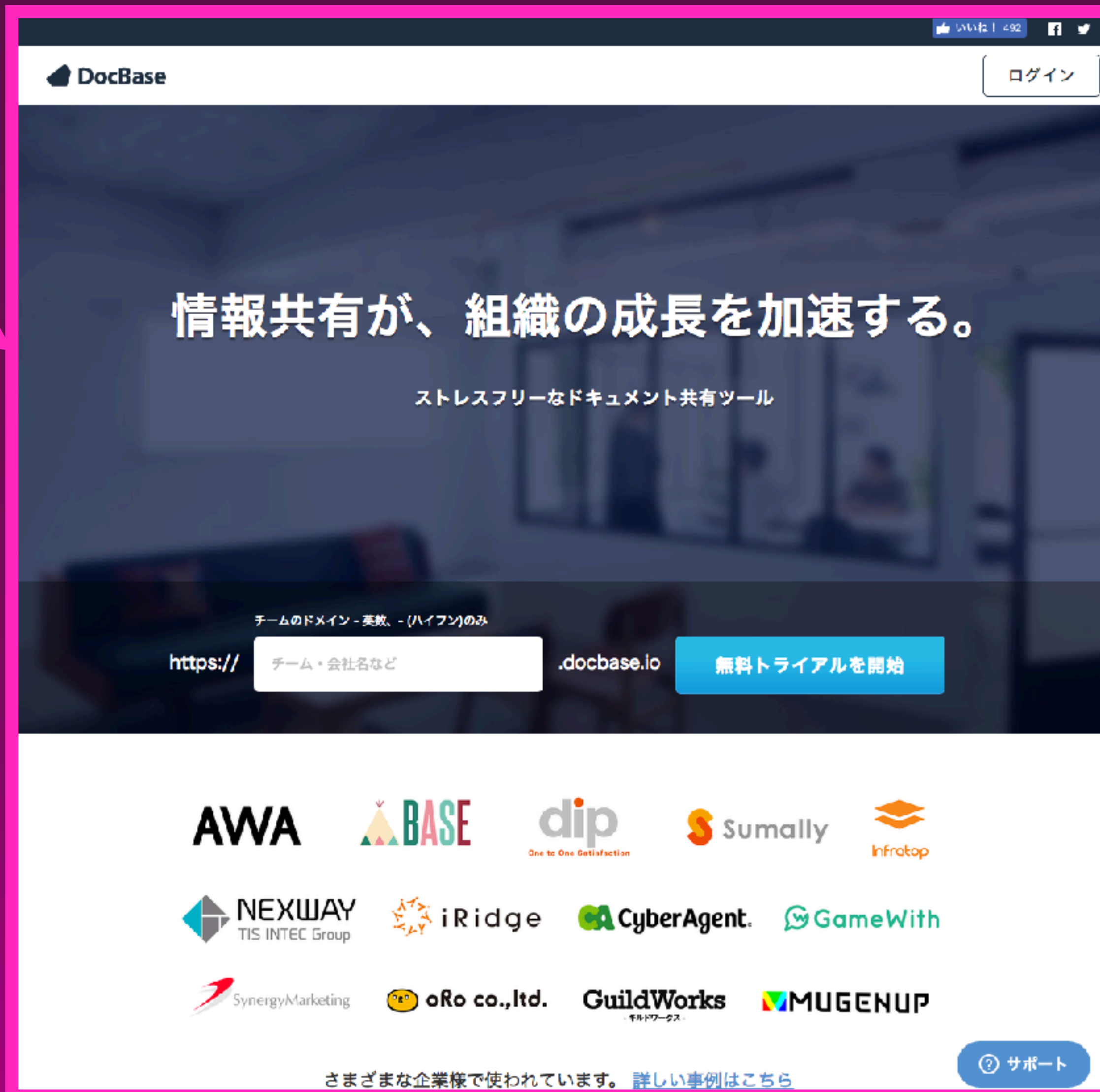
「どう変わるのかが、わかりやすかった、話を進めやすかった」

ケース2：既存サイトをXDで再現する



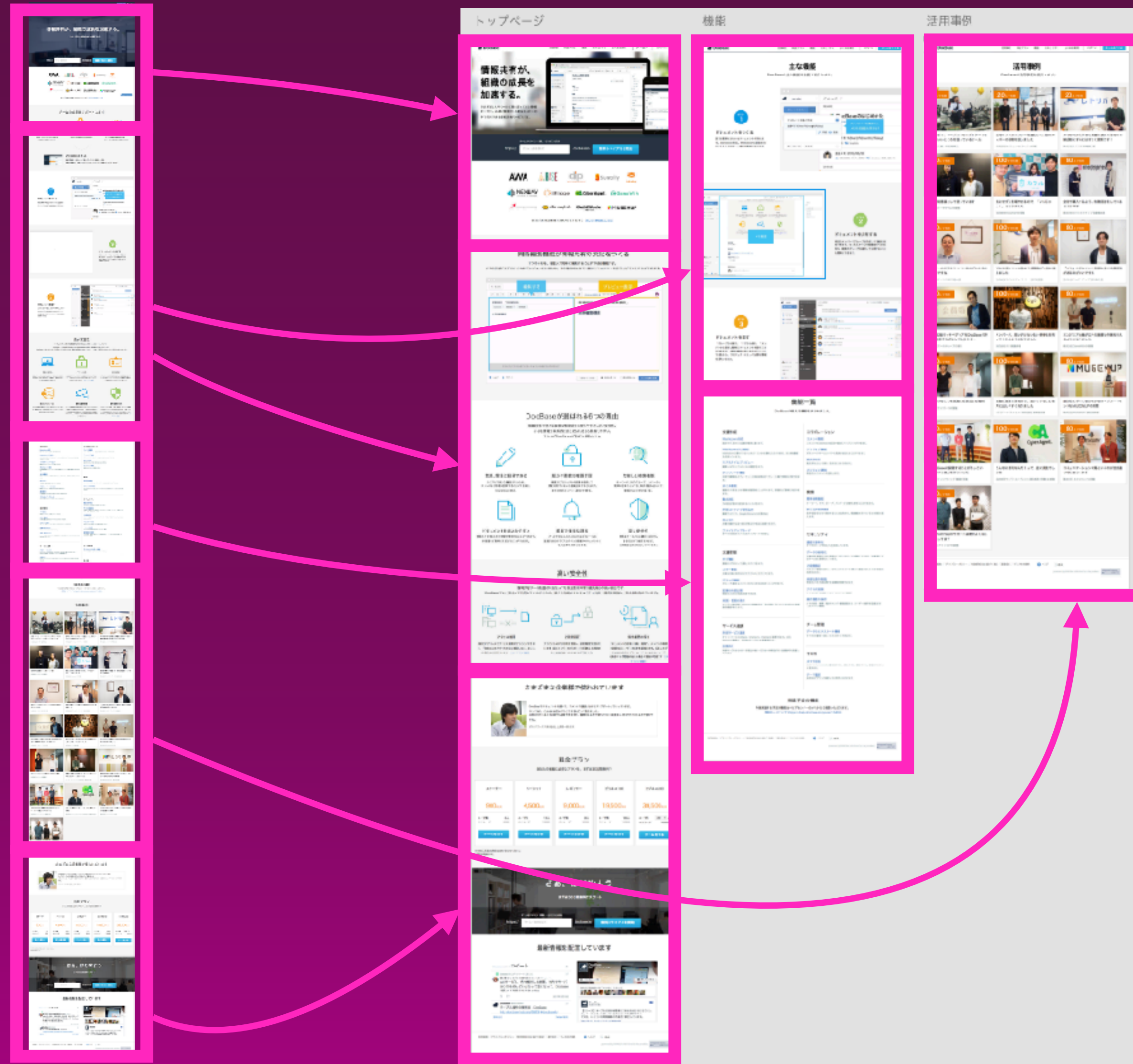
この間で使います

ケース2：既存サイトをXDで再現する



要件)
シングルページを
再構成する

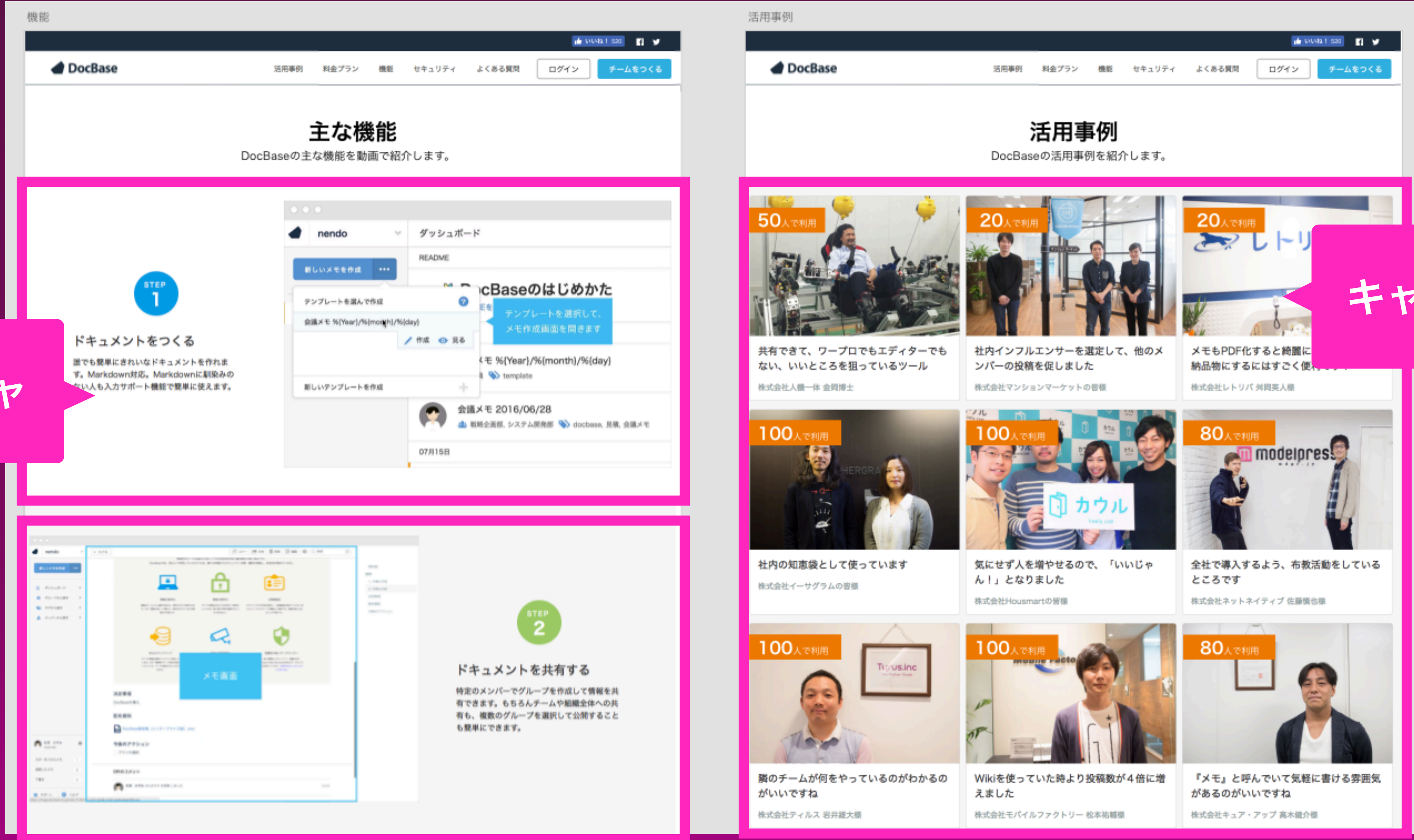
ケース2：既存サイトをXDで再現する



ケース2：既存サイトをXDで再現する

キャプチャ

キャプチャ



ケース2：既存サイトをXDで再現する

 ポイント

必要な箇所を、必要な分だけ、
手早く作る

導入ケース3

既存のワークフローに部分的に組み込む

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

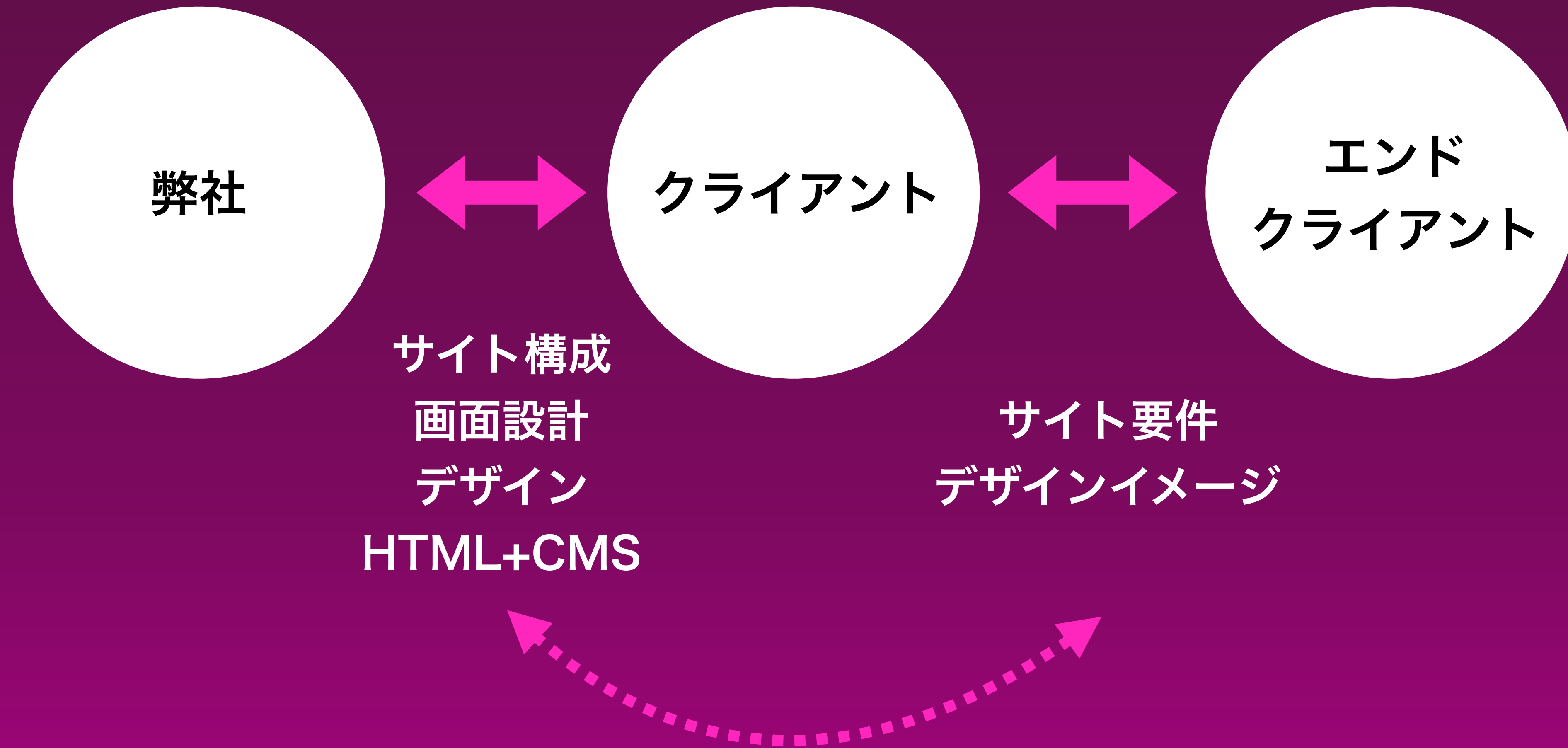
想定シーン

発注者と直接のコミュニケーションが行えない場合

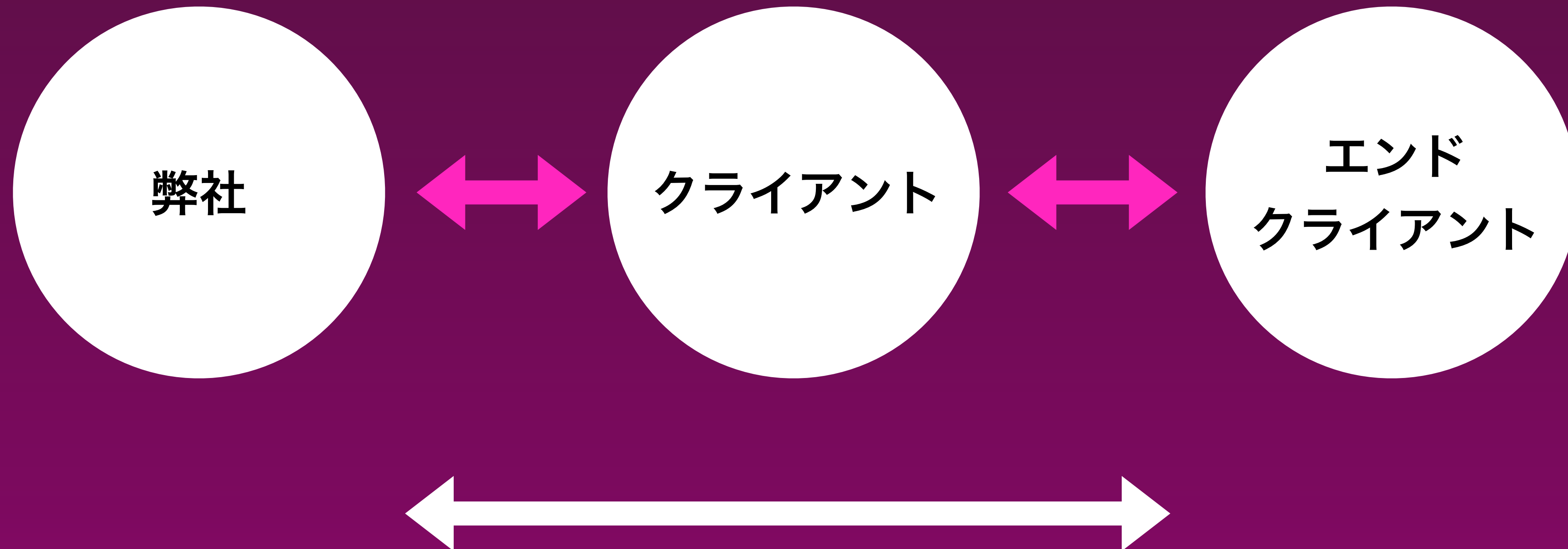
導入結果

「ブラウザでの
確認⇒戻し⇒再確認がしやすかった！」

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

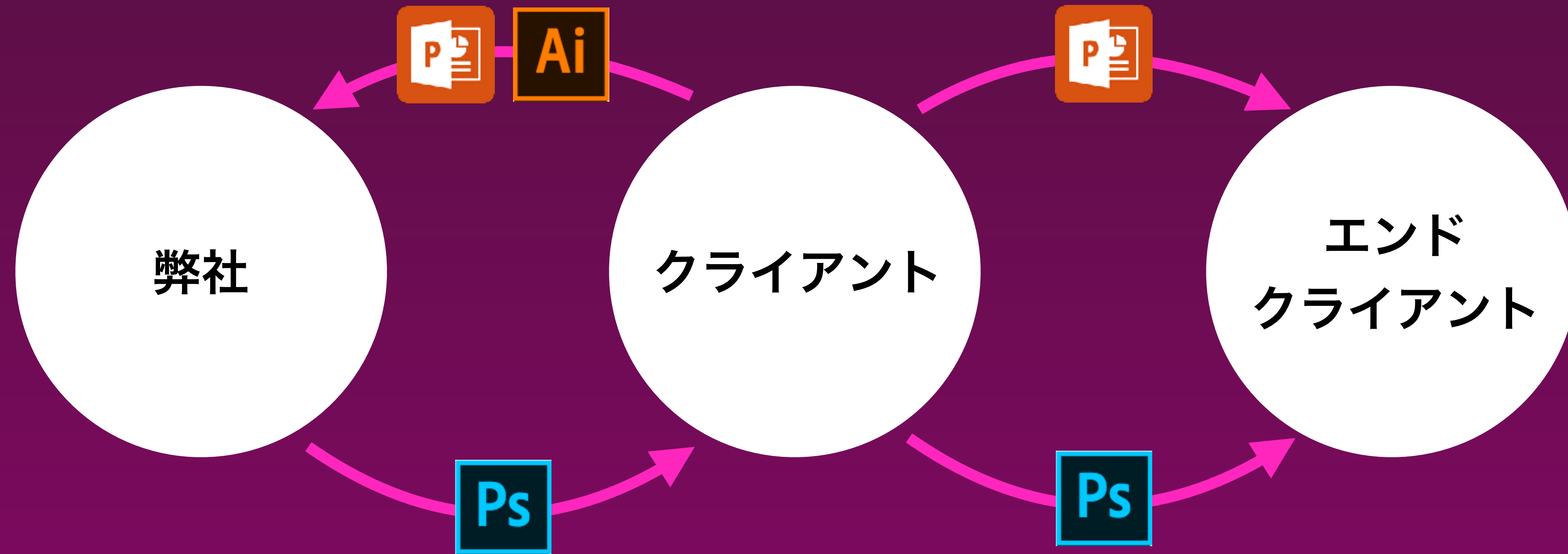


ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



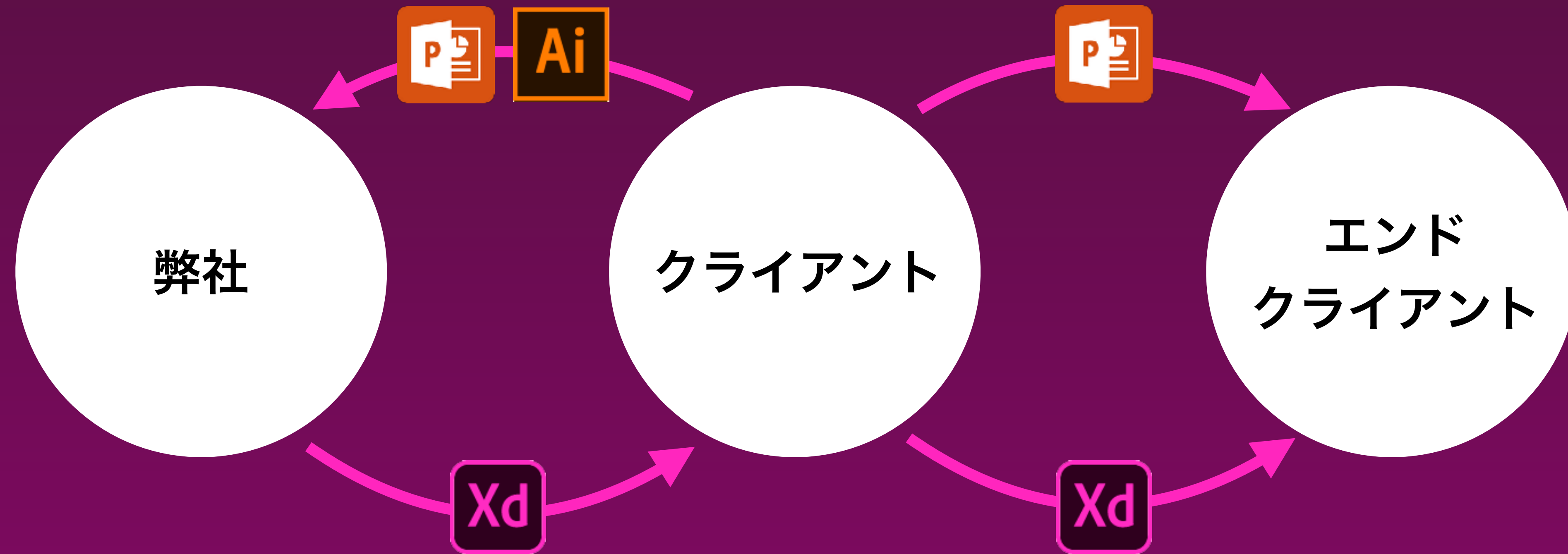
このフローを変えたくない

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



Photoshopでデザインした
カンパで確認

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



ワークフローは変えずに
弊社担当箇所のアウットプットを変更

ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

 ポイント

変えられる部分だけを変える
(変えることに時間をかけない)

導入ケース4

CMS設計のイメージを伝える

ケース4：CMS設計のイメージを伝える

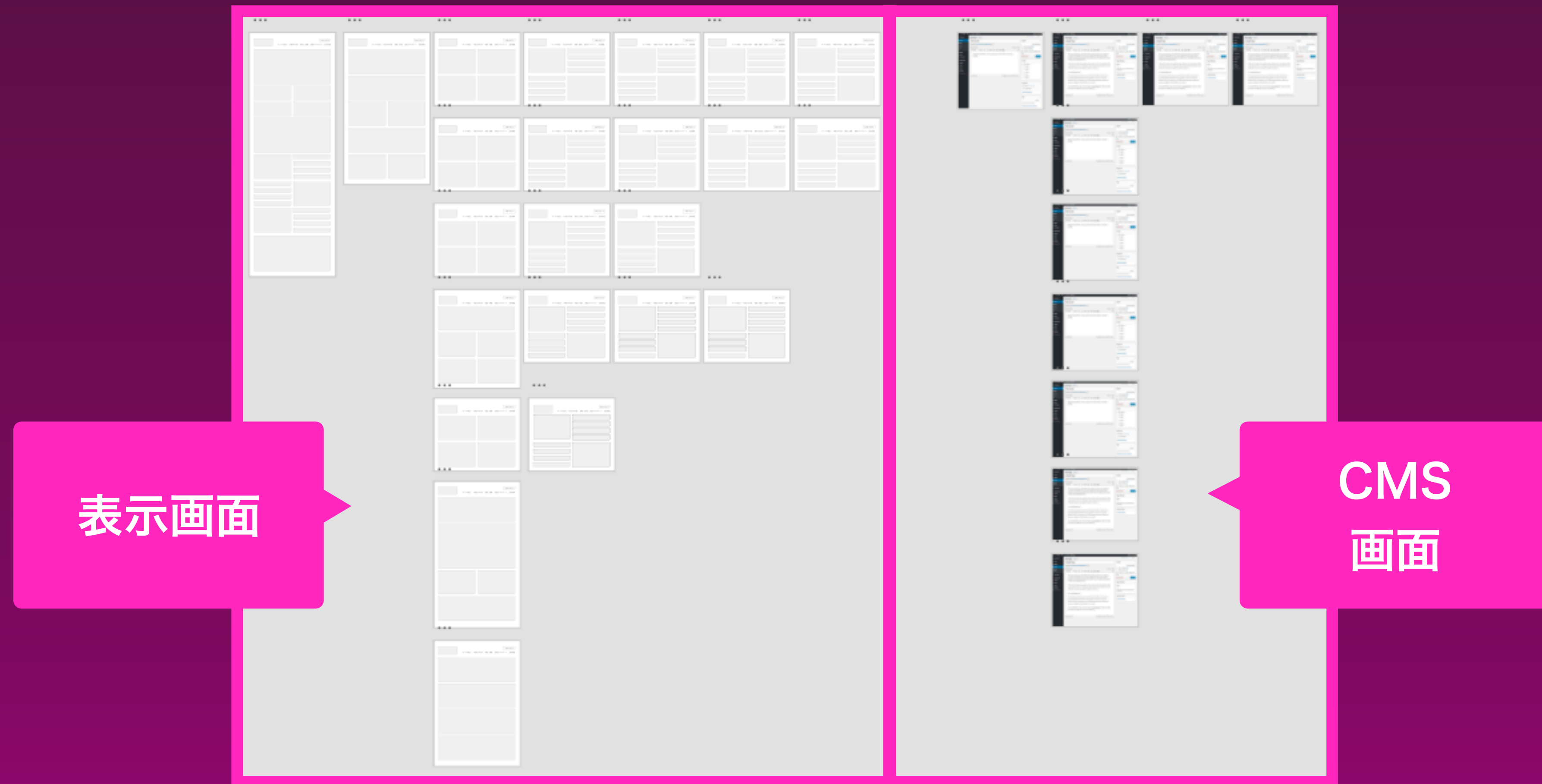
想定シーン

CMS管理画面で入力した内容が
どのように反映されるかを伝えるとき

導入結果

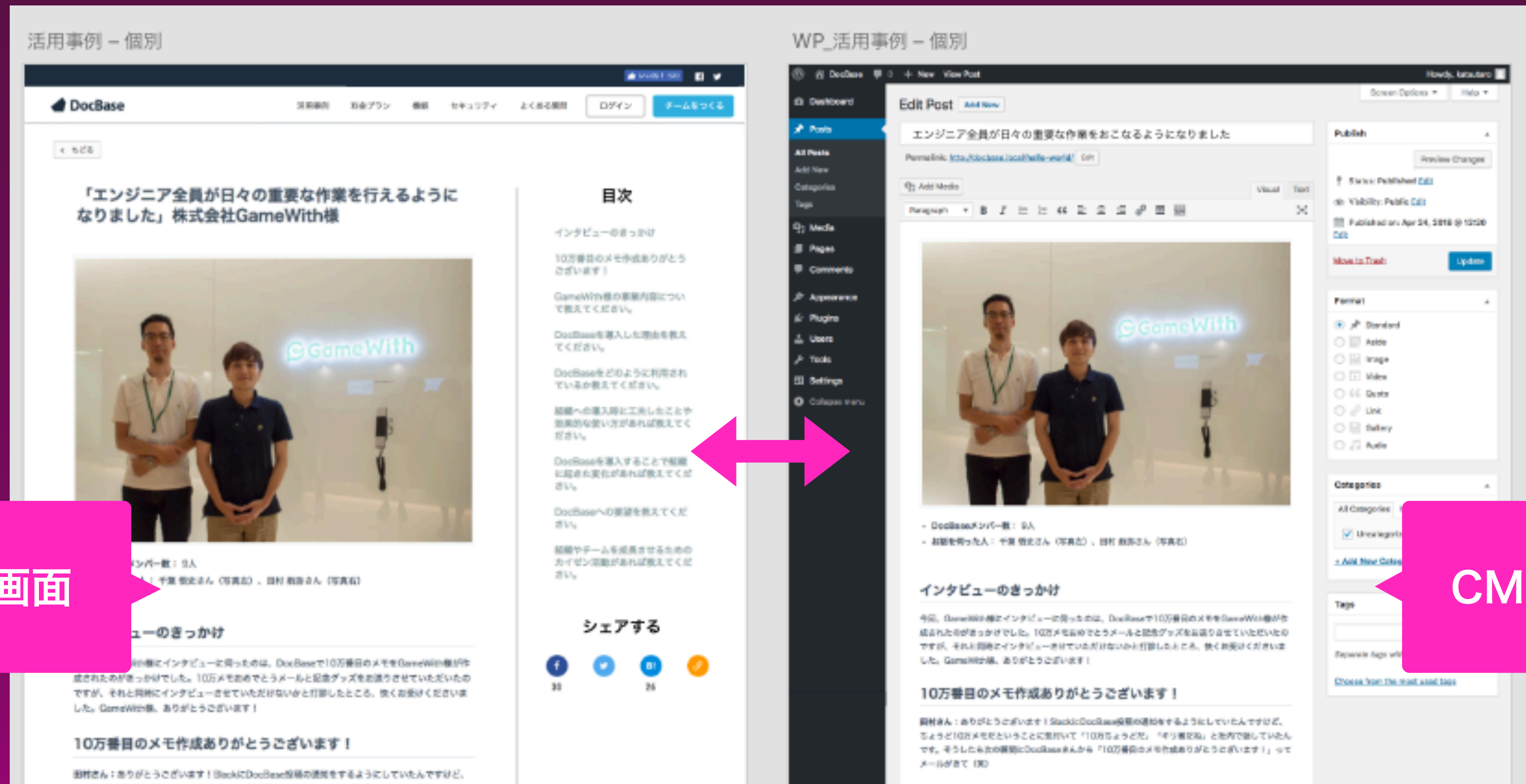
「仕様書ではよくわからなかった点が
イメージできるようになった」

ケース4：CMS設計のイメージを伝える



1つのXD上で、表示画面とCMS画面を作成

ケース4：CMS設計のイメージを伝える



1つのXD上で、表示画面とCMS画面を確認

ケース4：CMS設計のイメージを伝える

 ポイント

ドキュメントだけでは
伝わりづらい部分に使ってみる

導入ケース5

設計書+プロトタイプをまとめて作る

ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る

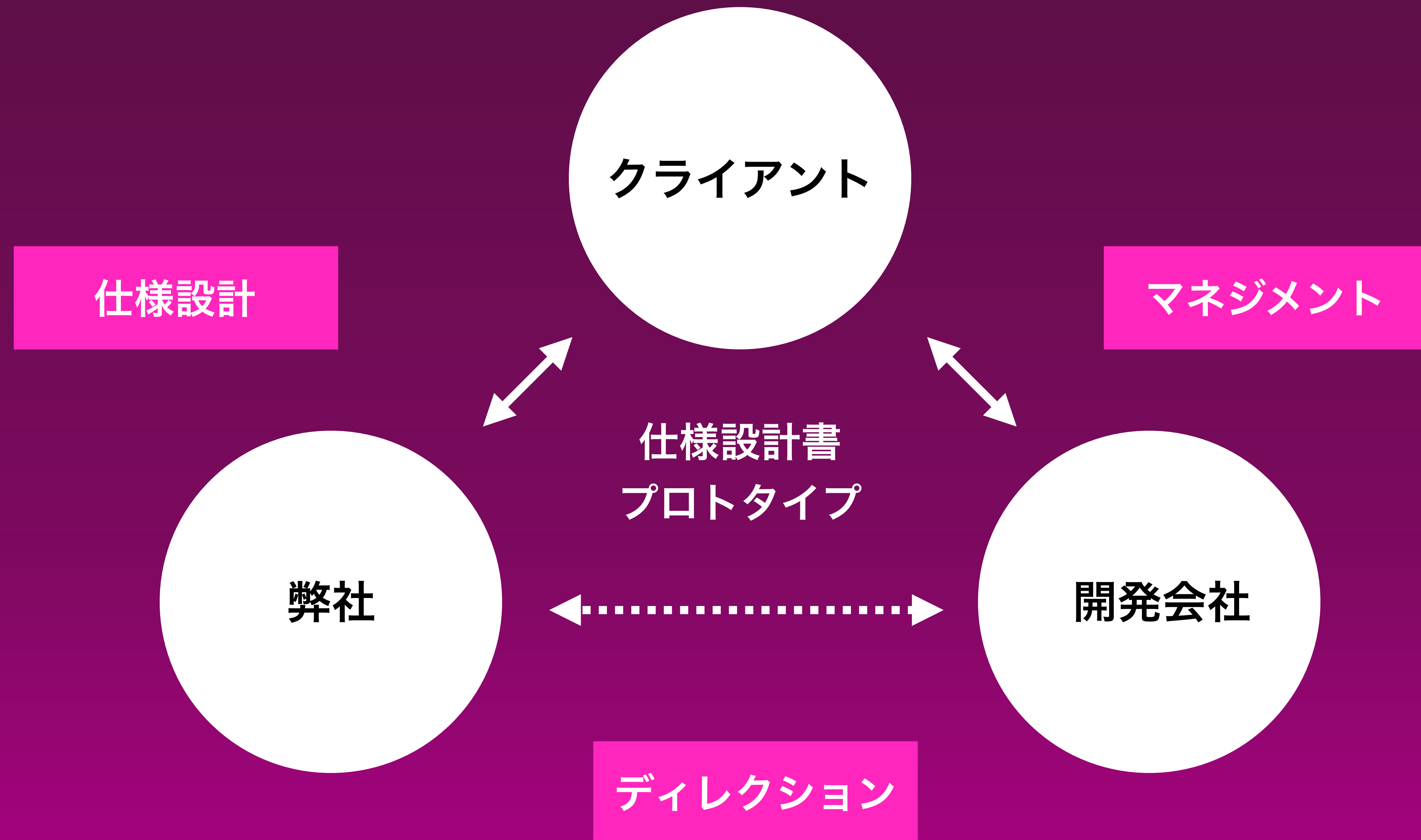
想定シーン

仕様設計書とプロトタイプを作成するとき
(クライアントと開発会社が別の場合)

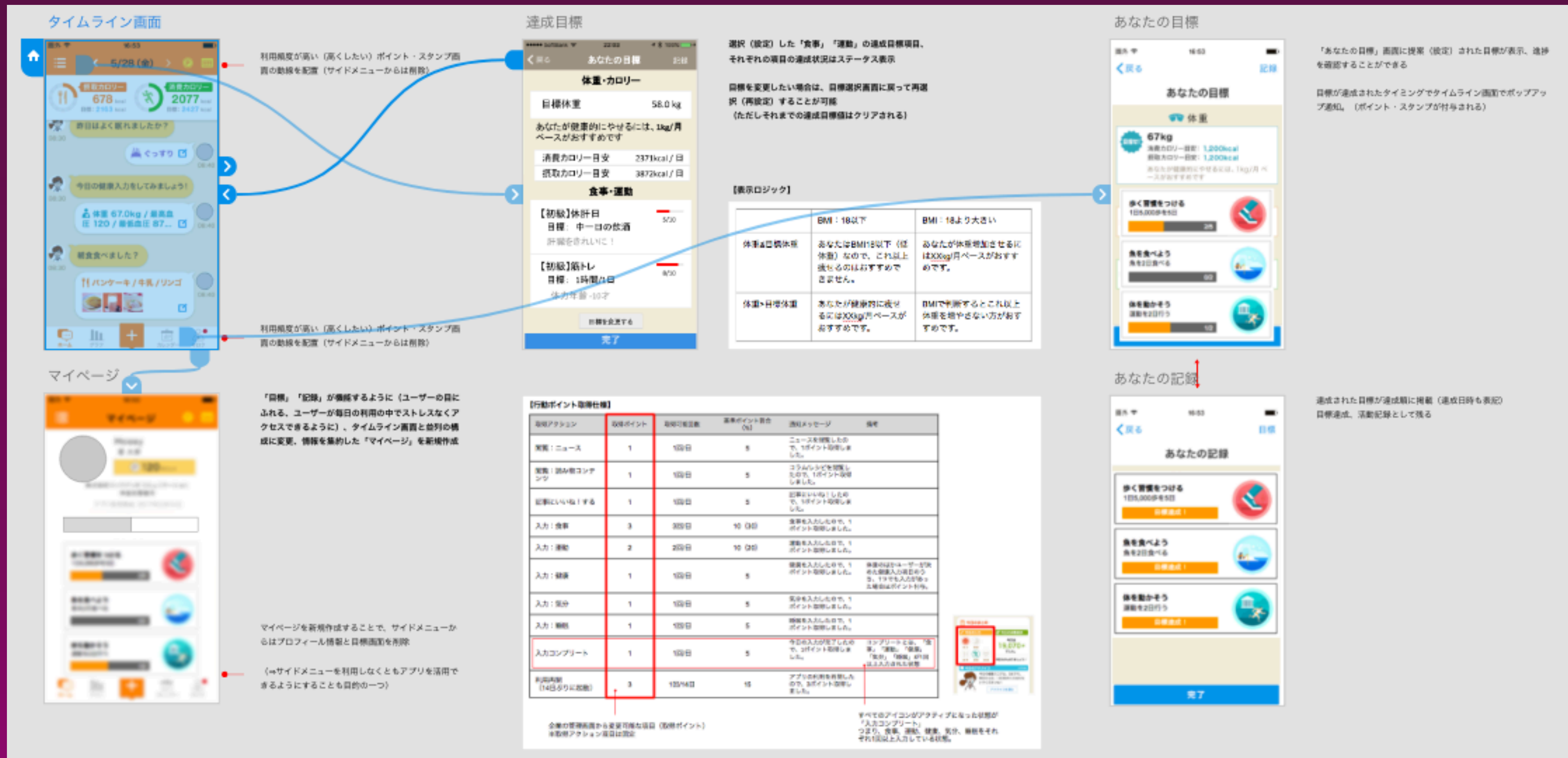
導入結果

「管理・更新するファイルが
まとめられてよかった」

ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る



ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る



XD上で、仕様設計書の情報を記載

ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る

タイムライン画面

利用頻度が高い(高くしたい)ポイント・スタンプ画面の動線を配置(サイドメニューからは削除)

利用頻度が高い(高くしたい)ポイント・スタンプ画面の動線を配置(サイドメニューからは削除)

達成目標

選択(設定)した「食事」「運動」の達成目標項目、それぞれの項目の達成状況はステータス表示

目標を変更したい場合は、目標選択画面に戻って再選択(再設定)することが可能
(ただしそれまでの達成目標値はクリアされる)

【表示ロジック】										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>BMI：18以下</th> <th>BMI：18より大きい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体重&目標体重</td> <td>あなたはBMI18以下(低体重)なので、これ以上減せるのはおすすめてきません。</td> <td>あなたが体重増加させるにはXXkg/月ペースがおすすめてです。</td> </tr> <tr> <td>体重>目標体重</td> <td>あなたが健康的に減せるにはXXkg/月ペースがおすすめてです。</td> <td>BMIで判断するとこれ以上体重を増やさない方がおすすめてです。</td> </tr> </tbody> </table>		BMI：18以下	BMI：18より大きい	体重&目標体重	あなたはBMI18以下(低体重)なので、これ以上減せるのはおすすめてきません。	あなたが体重増加させるにはXXkg/月ペースがおすすめてです。	体重>目標体重	あなたが健康的に減せるにはXXkg/月ペースがおすすめてです。	BMIで判断するとこれ以上体重を増やさない方がおすすめてです。
	BMI：18以下	BMI：18より大きい								
体重&目標体重	あなたはBMI18以下(低体重)なので、これ以上減せるのはおすすめてきません。	あなたが体重増加させるにはXXkg/月ペースがおすすめてです。								
体重>目標体重	あなたが健康的に減せるにはXXkg/月ペースがおすすめてです。	BMIで判断するとこれ以上体重を増やさない方がおすすめてです。								

あなたの目標

「あなたの目標」画面に検索(設定)された目標が表示、選択を随時することができる

目標が達成されたタイミングでタイムライン画面でポップアップ通知。(ポイント・スタンプが付与される)

マイページ

「目標」「記録」が機能するように(ユーザーの目にふれる、ユーザーが毎日の利用の中でストレスなくアクセスできるように)、タイムライン画面と並列の構成に変更、情報を集約した「マイページ」を新規作成

マイページを新規作成することで、サイドメニューからはプロフィール情報と目標画面を削除

←サイドメニューを利用しなくともアプリを活用できるようにすることも目的の一つ

【行動ポイント取得仕様】

取得アクション	取得ポイント	取得可能回数	基準ポイント割合(%)	通知メッセージ	備考
閲覧：ニュース	1	100回	5	ニュースを閲覧したことで、1ポイント取得しました。	
閲覧：読み物コンテンツ	1	100回	5	コラム/レシピを閲覧したことで、1ポイント取得しました。	
記事にいいね！する	1	100回	5	記事にいいね！したことで、1ポイント取得しました。	
入力：食事	3	300回	10	食事を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力：運動	2	200回	10	運動を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力：健康	1	100回	5	健康を入力したことで、1ポイント取得しました。	健康のほかにユーザーが決められた項目を入力することで、1ポイントでも入力した場合はポイント取得。
入力：気分	1	100回	5	気分を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力：睡眠	1	100回	5	睡眠を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力コンプリート	1	100回	5	今日の入力が完了したことで、3ポイント取得しました。	コンプリートとは、「食事」「運動」「健康」「気分」「睡眠」が1回以上入力された状態
利用再開(14日より以降)	3	1回/4日	15	アプリの利用を再開したことで、3ポイント取得しました。	

全てのアイコンがアクティブになった状態が「入力コンプリート」つまり、食事、運動、健康、気分、睡眠をそれぞれ1回以上入力している状態。

あなたの記録

達成された目標が達成順に掲載(達成日時も表記)目標達成、活動記録として残る

画面ごとにGoogleスライドにコピペ

ケース5：仕様設計書と実装指示書を作成するとき

 ポイント

作成・共有するドキュメントを
少なくする

5つの導入ケースのポイント

1. 新しいツールと意識させずに導入する
2. 必要な箇所を、必要な分だけ、手早く作る
3. 変えられる部分だけを変える
4. 伝わりづらい部分に使ってみる
5. 作成・共有するドキュメントを少なく

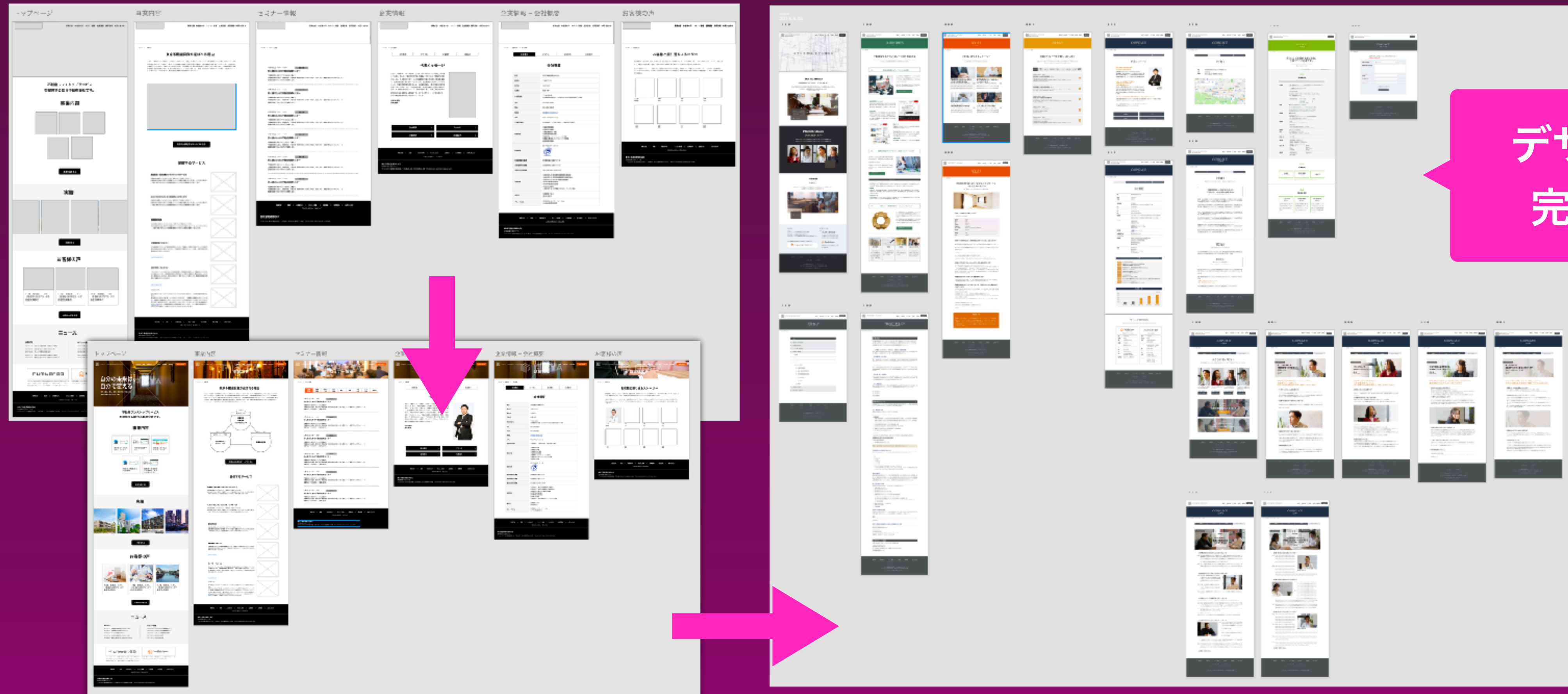


XD導入における 失敗例とふりかえり

失敗例

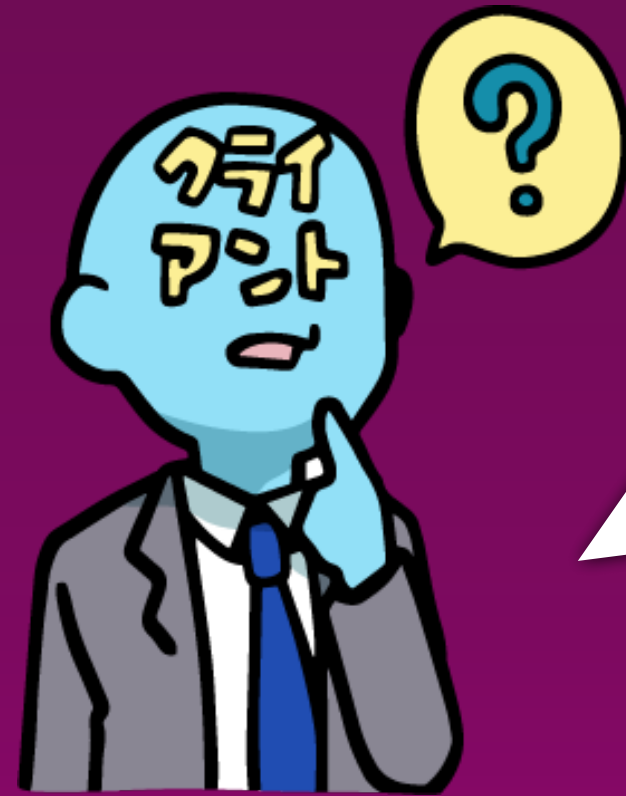
デザインであることを
認識してもらえてなかった！

失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった

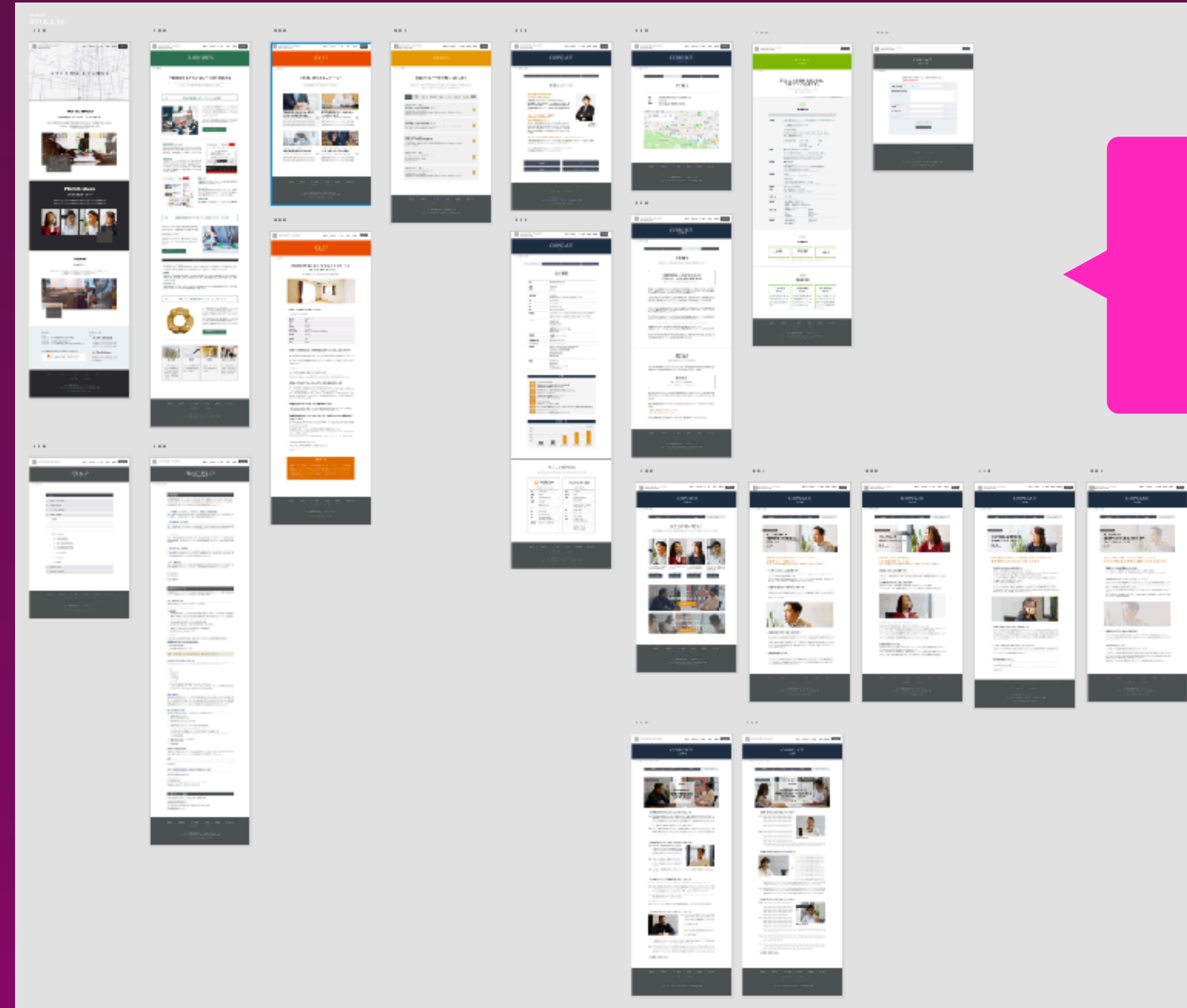


XD上で徐々に構成とデザインを詰めていった

失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった



デザインは
まだ確認
できないの？

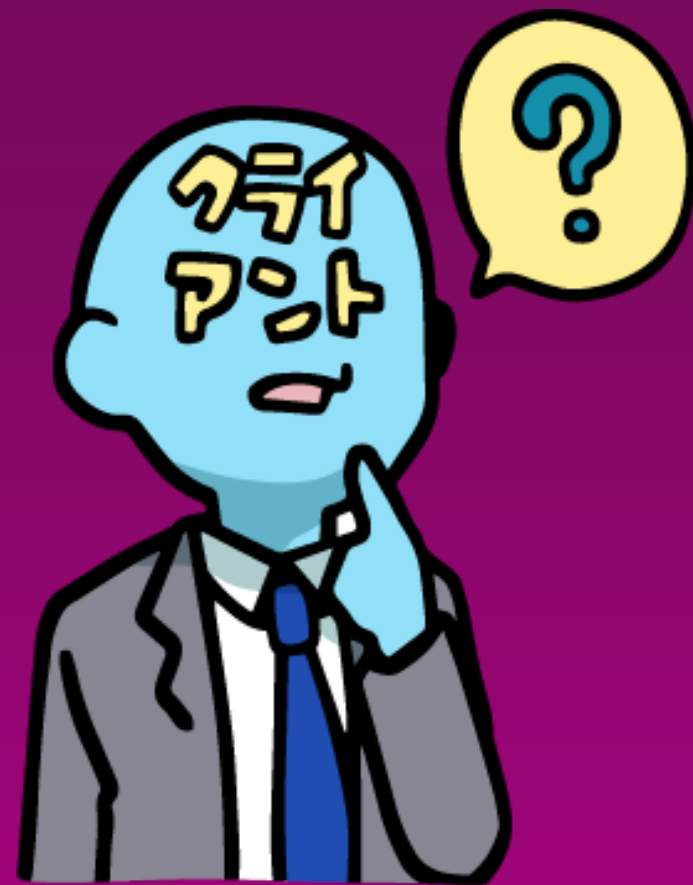


デザイン
完成形

XDとデザインは別だと思われていた

失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった

XD上で確認していた内容が
まだデザインではなく、
途中段階だと思われていた



失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった

クライアントの理解度に
合わせたコミュニケーション
ができていなかった



以前に担当していた制作会社のフローの認識が残っていた

クライアントと
しっかりと
向き合うことが大事



ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

どのようにXDを活用しているか

活用ケース1

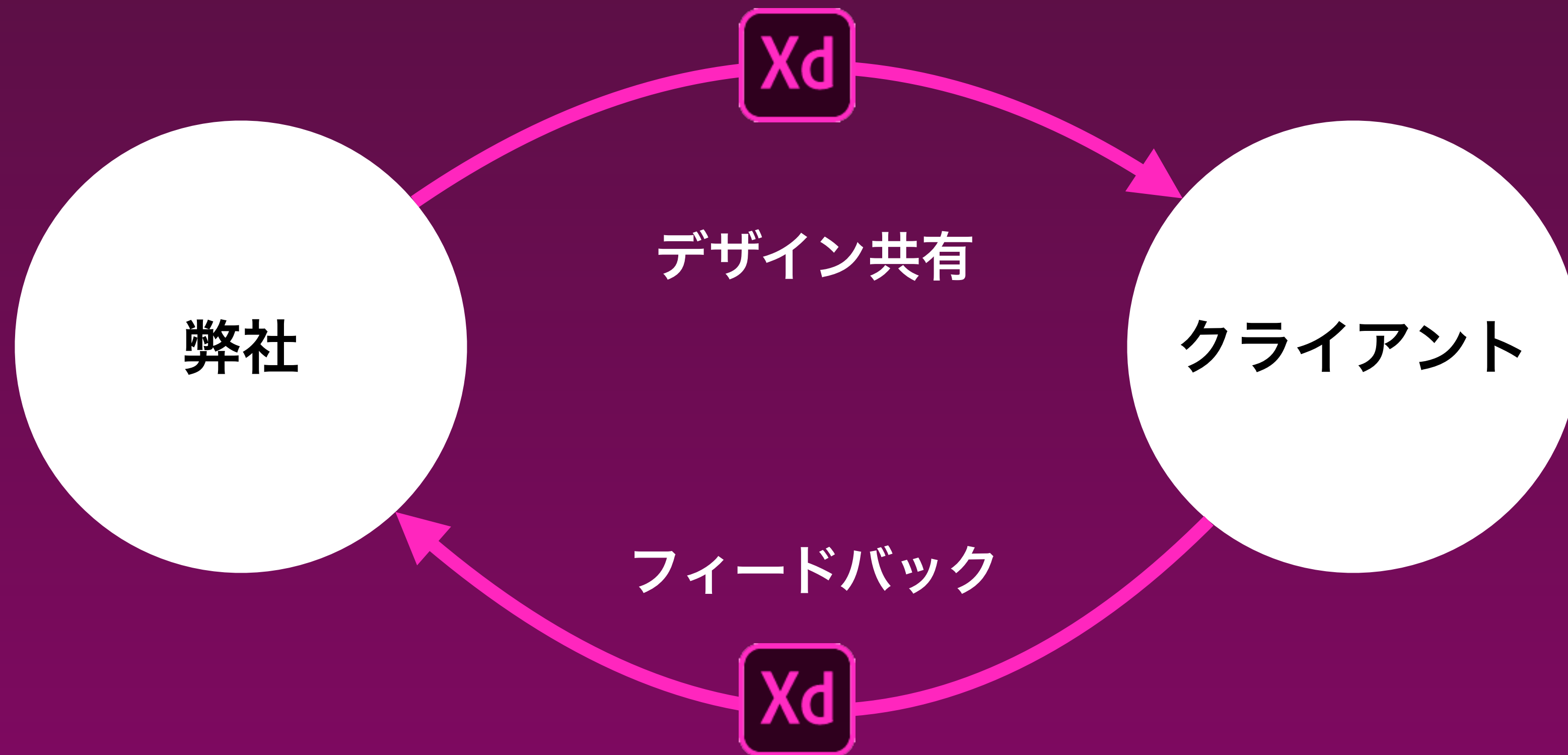
デザイン確認・共有する

ケース1：デザイン確認・共有する



デザインの共有とフィードバックが
異なるツールになってしまっていた

ケース1：デザイン確認・共有する



XDのみで完結するようになりました

ケース1：デザイン確認・共有する

**XD上で履歴も確認
できるようにしています**

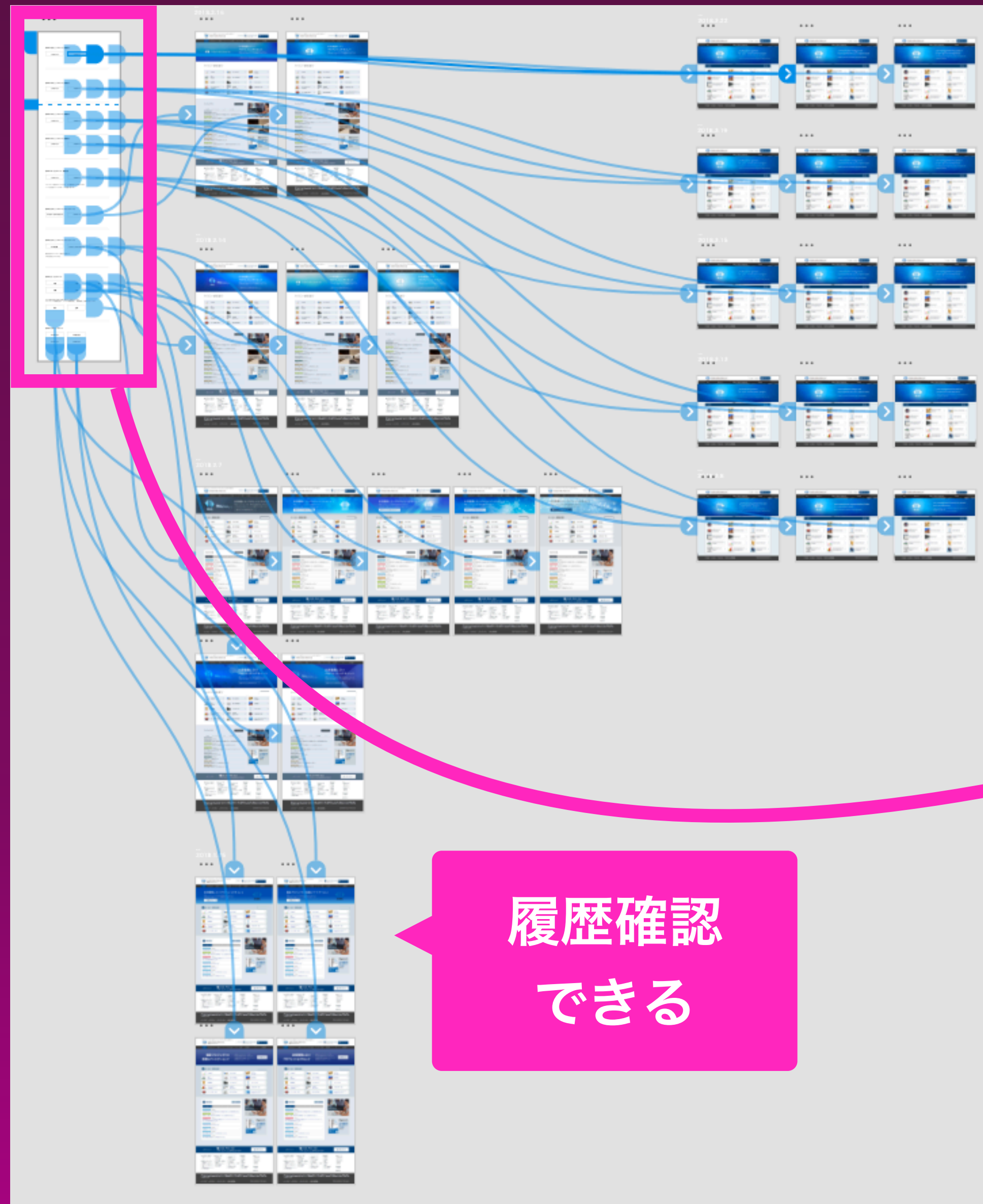
ケース1：デザイン確認・共有する

日付表記

リスト表示



ケース1：デザイン確認・共有する



履歴確認
できる

2018.2.7 トップページ

a案

b案

c案

d案

e案

以下の2案はお戻し内容とは別途で弊社からの提案となります
メインイメージの画像の高さ、「サービス事例を探す」「新着情報」の表現を変えています

f案

g案

リスト表示

2018.1.25 トップページ

ロゴあり1

ロゴあり2

ロゴなし1

ロゴなし2

ケース1：デザイン確認・共有する



1つの場所（URL）で確認できる

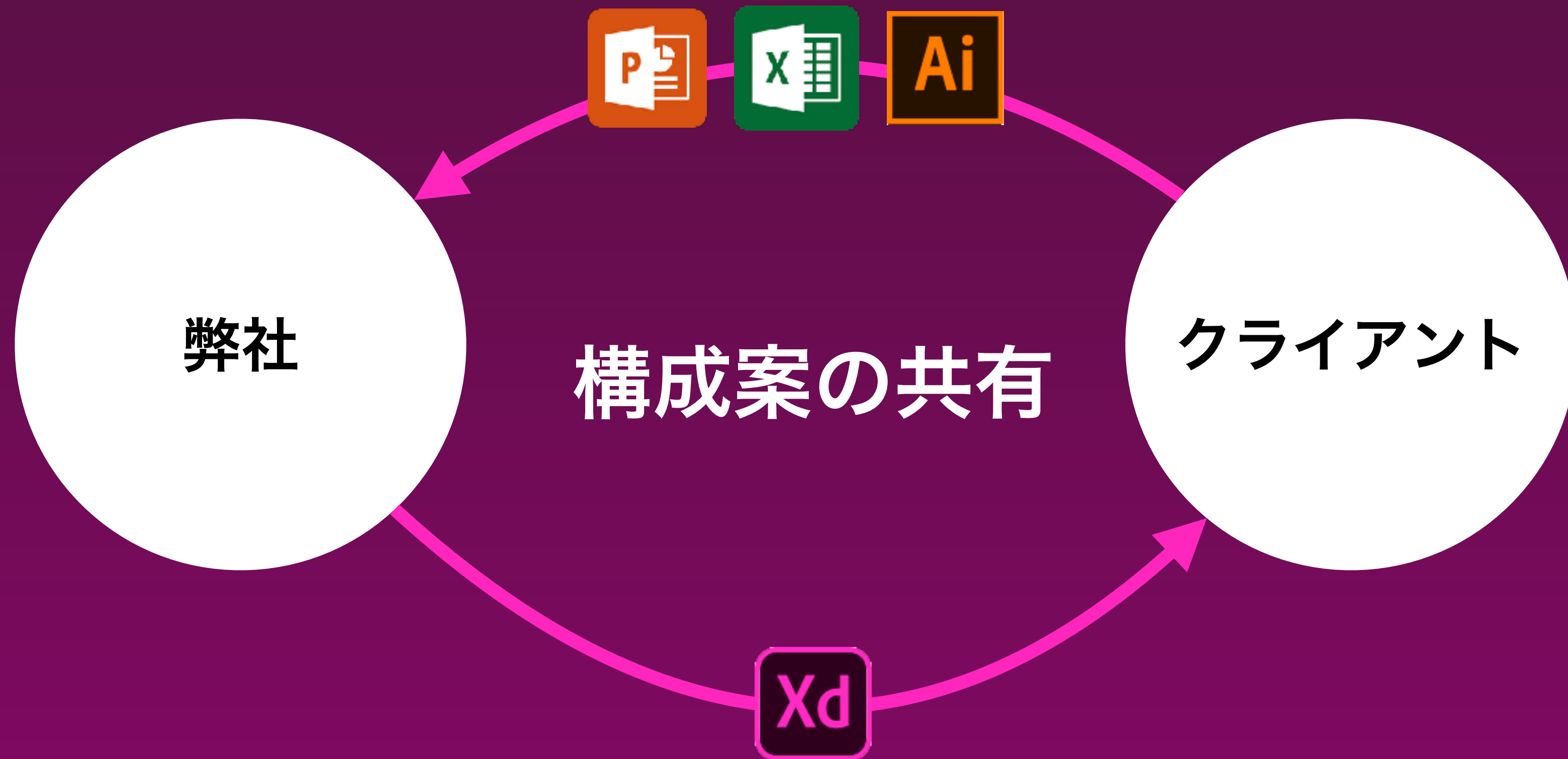
これまでの経緯が確認しやすい

社内共有がしやすい

活用ケース2

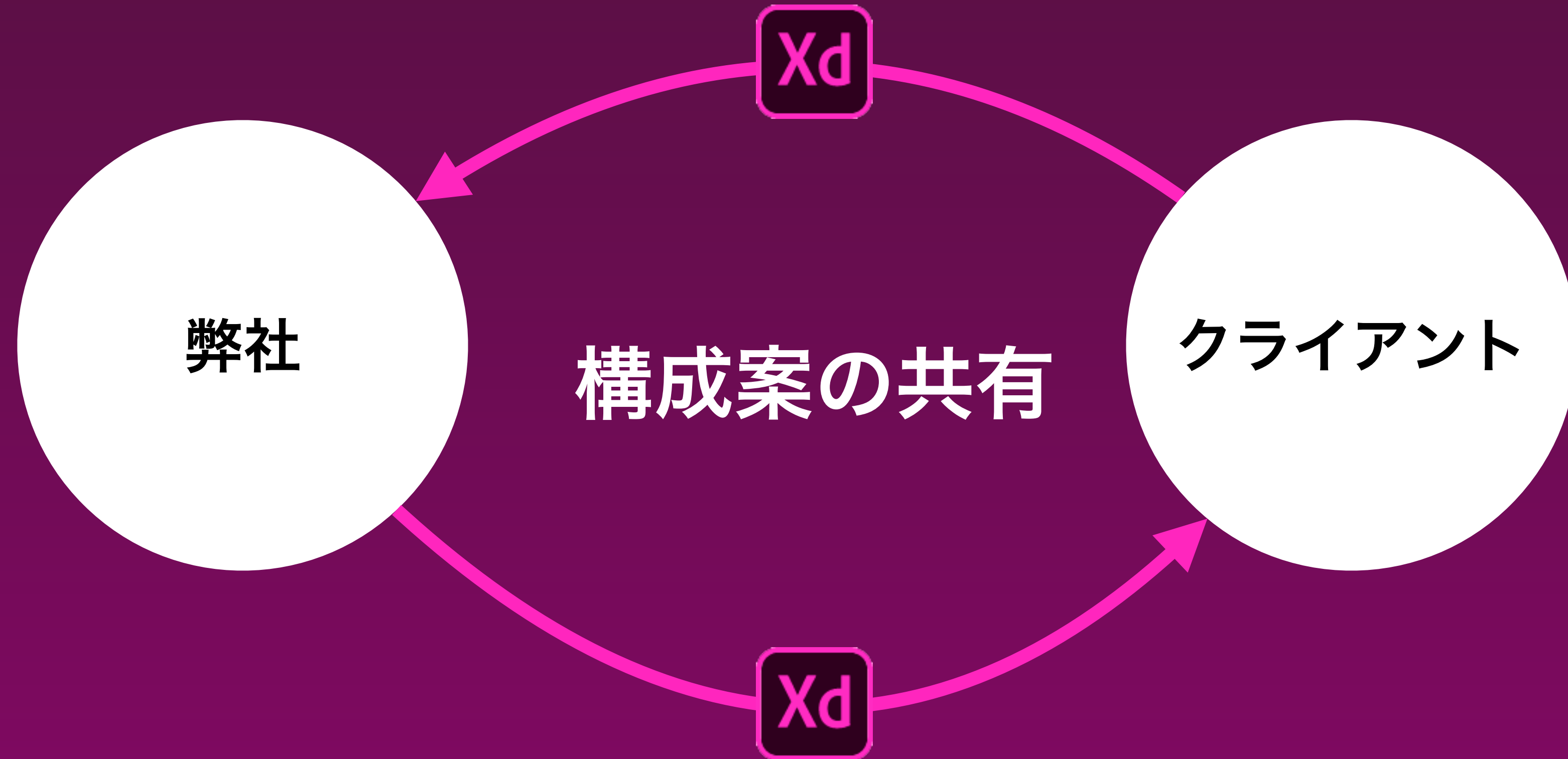
ドキュメントをXSDに統一する

ケース2：ドキュメントをXDに統一する



クライアントの部署ごとに共有される
ドキュメントのフォーマットがバラバラ

ケース2：ドキュメントをXDに統一する

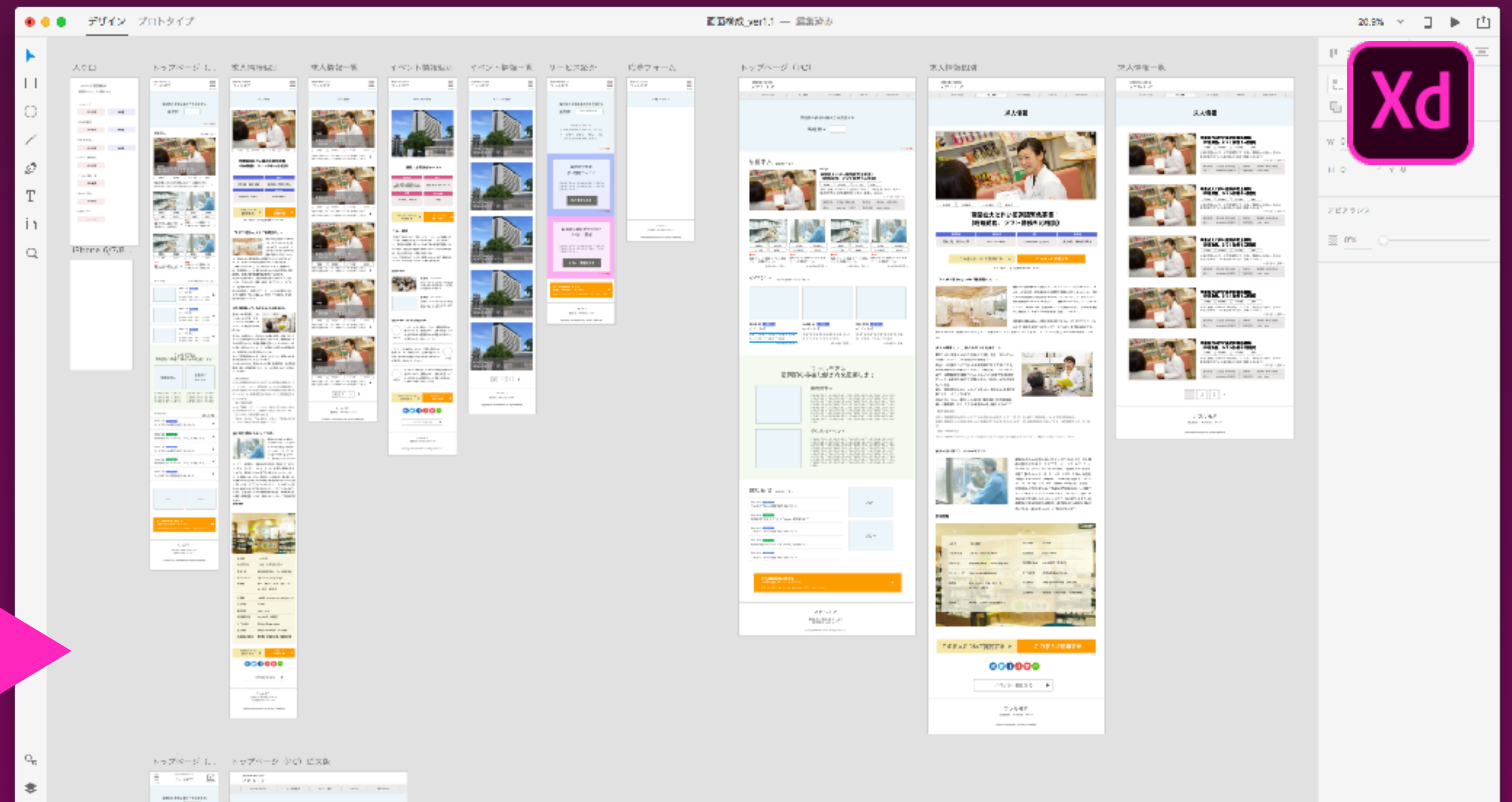
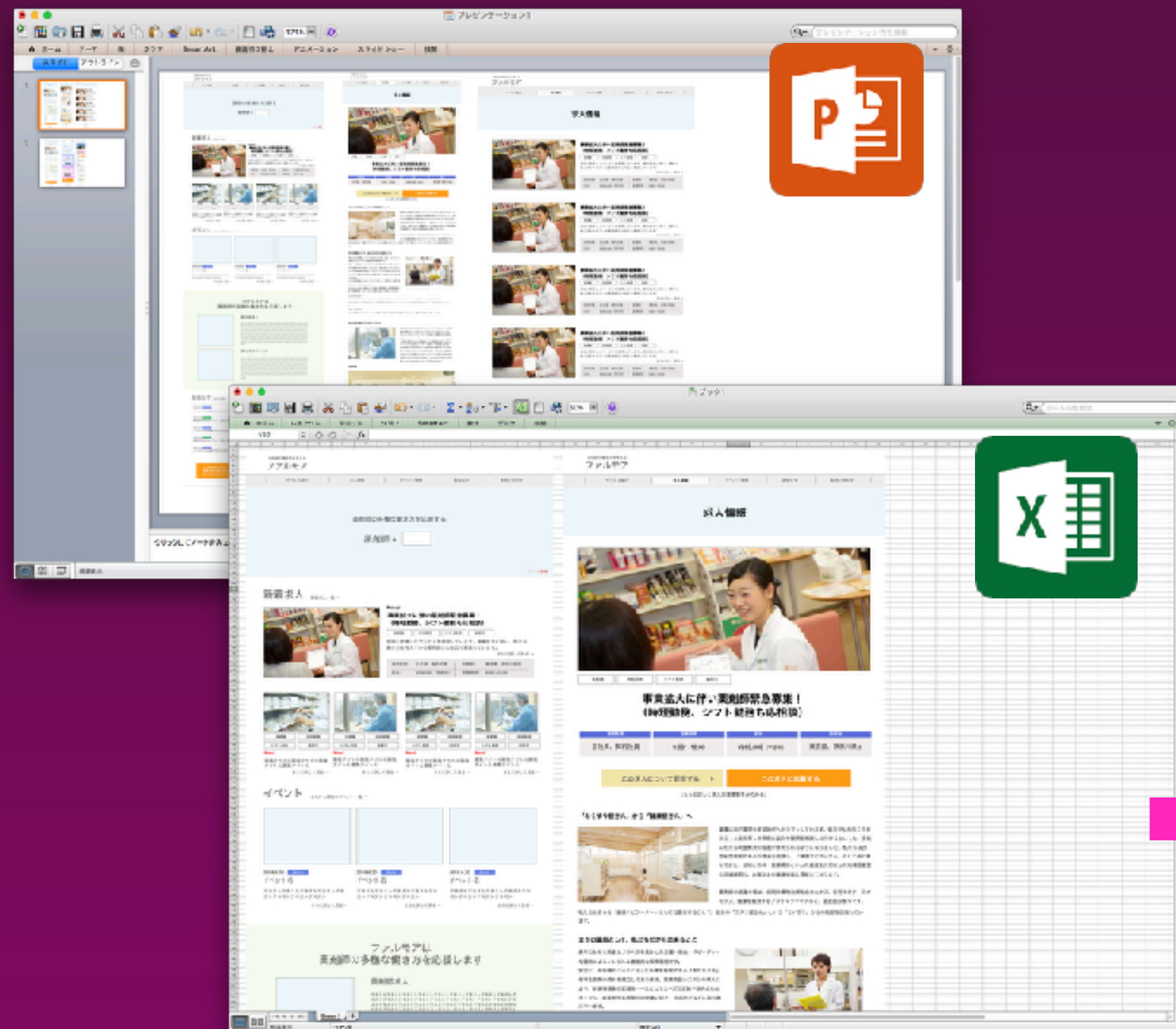


ドキュメントをXDに統一しました

ケース2：ドキュメントをXDに統一する

パワポやエクセルで
構成案を作れる人は
XDを使える

ケース2：ドキュメントをXDに統一する



作業環境があれば、1～2時間でXDに移行することは可能です

ケース2：ドキュメントをXDに統一する



短時間で作ることができる

確認、共有がしやすい

制作進行がスムーズになった

2つの活用ケースのポイント

1. ツールやドキュメントをまとめる
2. 導入の負荷を上回るメリットを伝える
3. 実際に体感してもらう機会をつくる

ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

XDが導入・活用できるポイント

デザイン

プロト
タイピング

イメージの
共有

制作フローの効率化

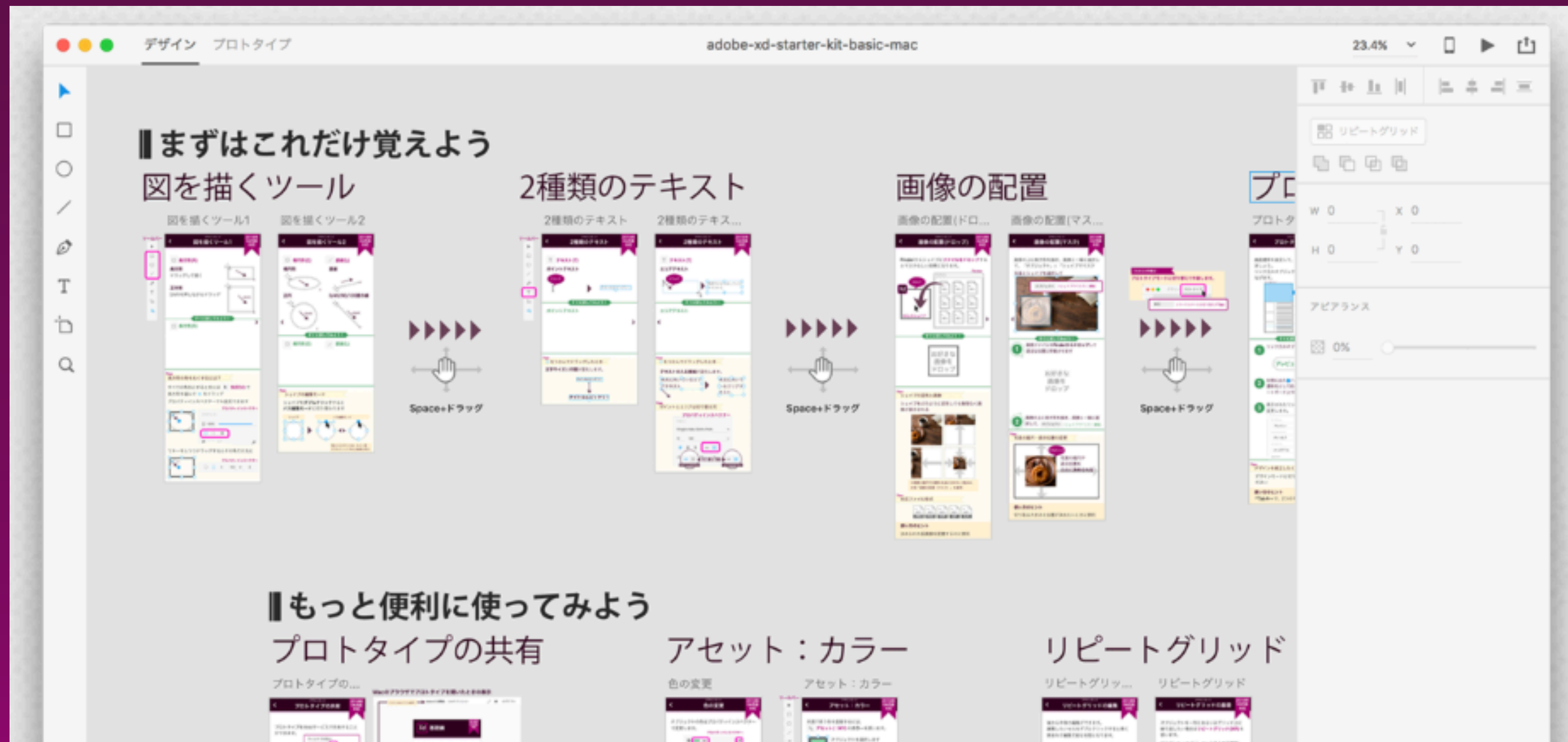
コミュニケーション

スタータープランの登場

	Xd スタータープラン 無料 XDをダウンロード	Xd 単体プラン 1,180 円/月 (税別) 購入する
Adobe XD	●	●
アクティブな共有プロトタイプ	1	無制限
アクティブな共有デザインスペック	1	無制限
クラウドストレージ	2GB	100GB
その他のサービス	Typekit無料プラン（限定フォントセット） Creative Cloudライブラリ	Typekitポートフォリオプラン（全フォントライブラリ） Creative Cloudライブラリ

無料でいますぐに
使うことができる

スターターキットの提供



すぐにXDの使い方を学ぶことができる

使ってみない理由がない

XDの導入によって得られる価値

負荷

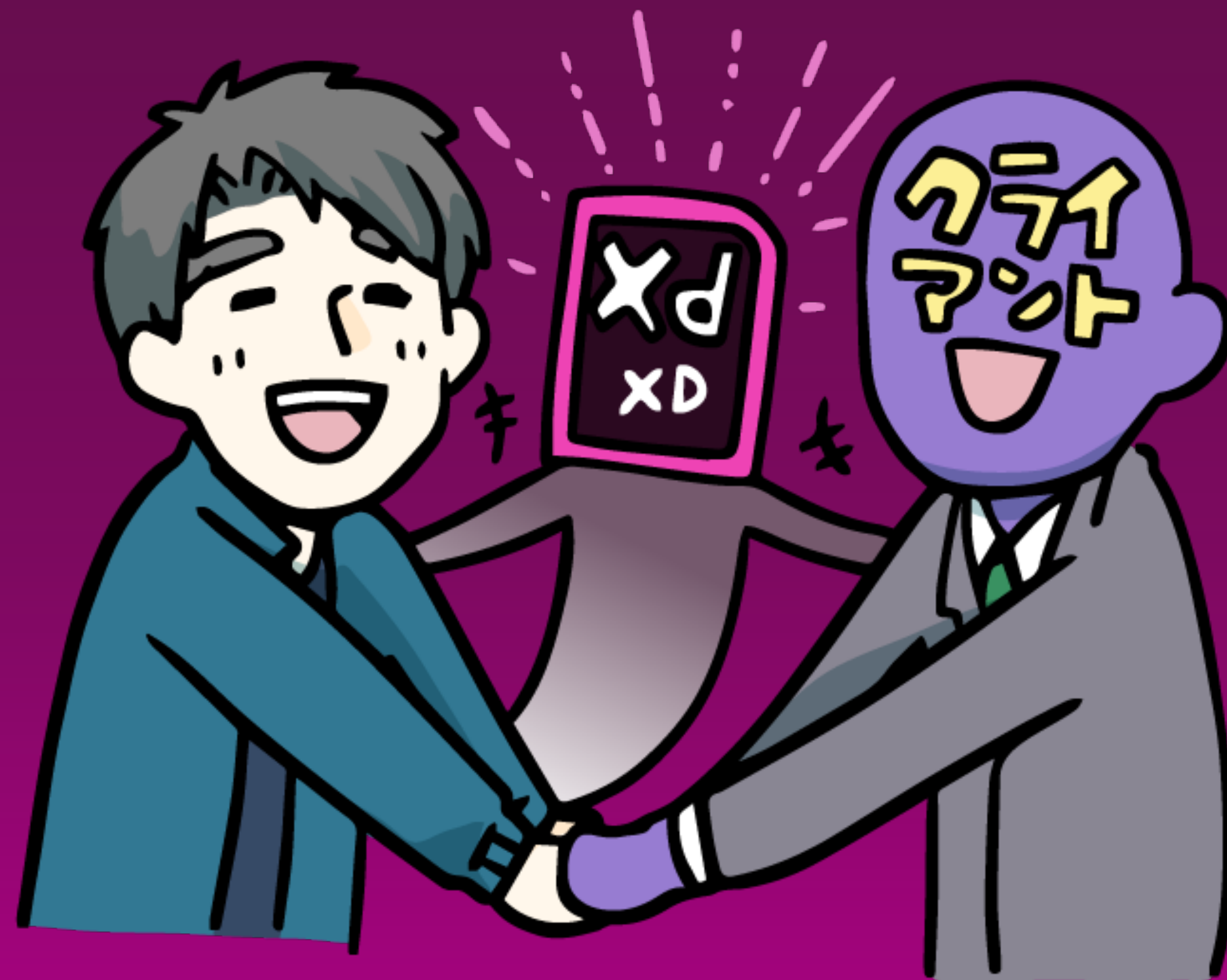
学習コスト
ツールの使い分け
確認の手間

<

価値

作業の軽減
新しい体験

XDは対話のためのツール



最後に

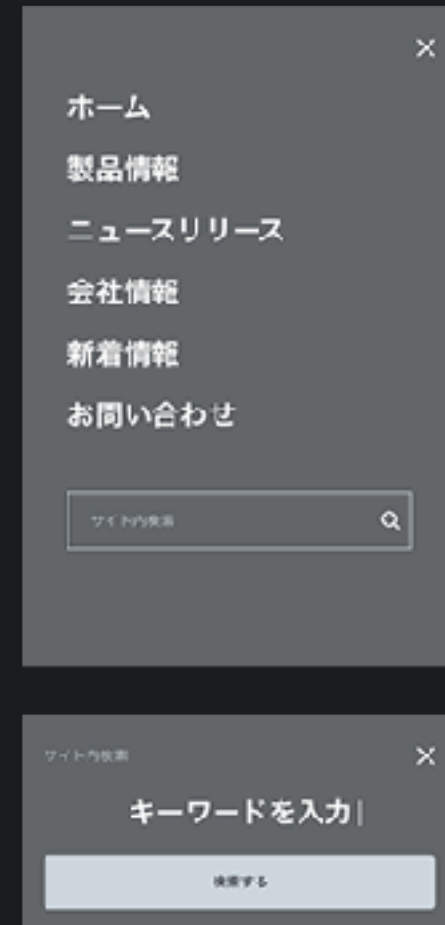
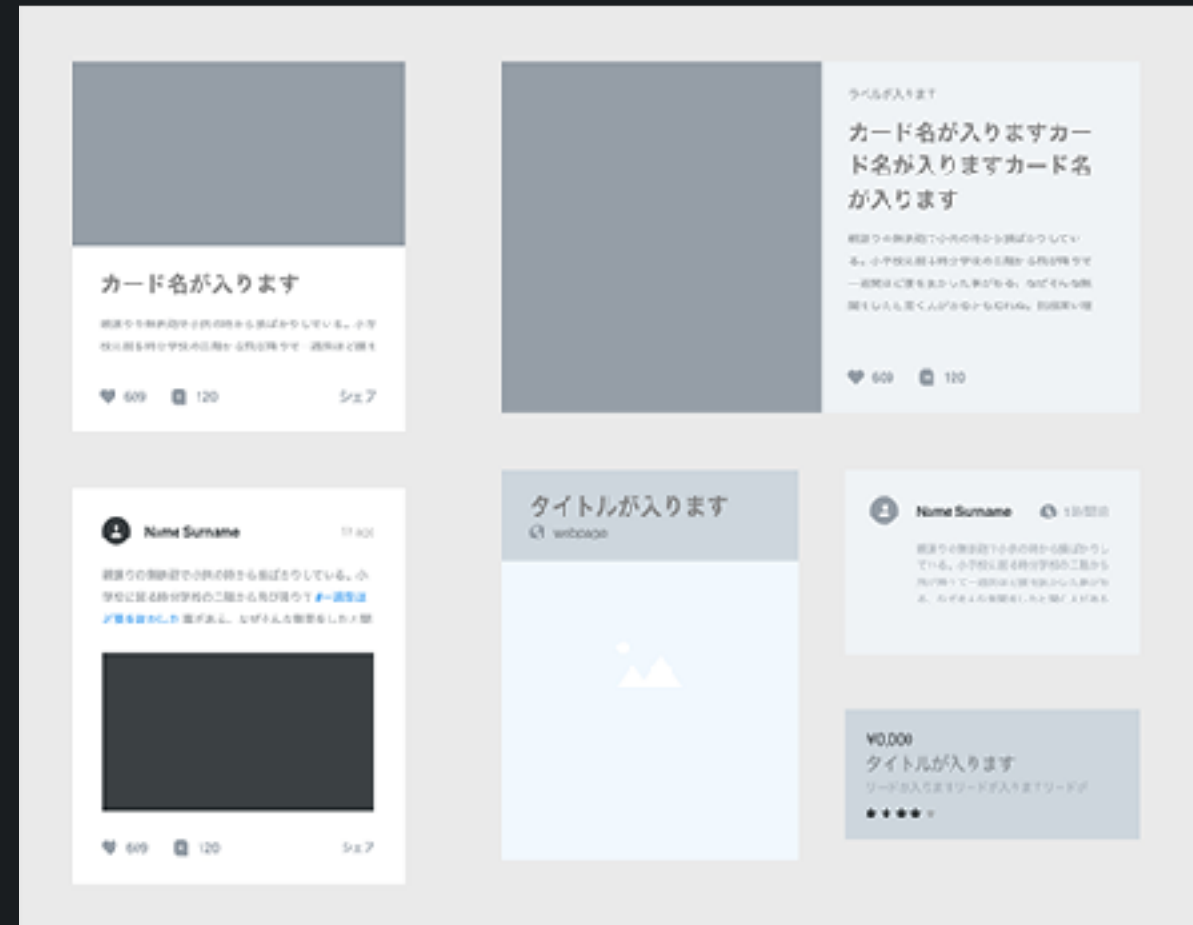
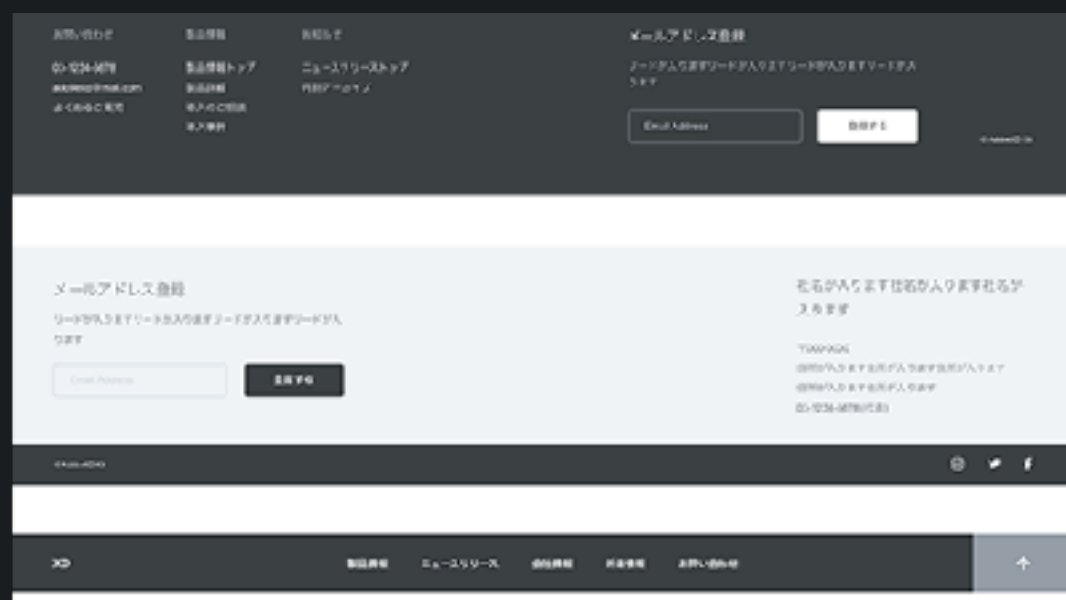
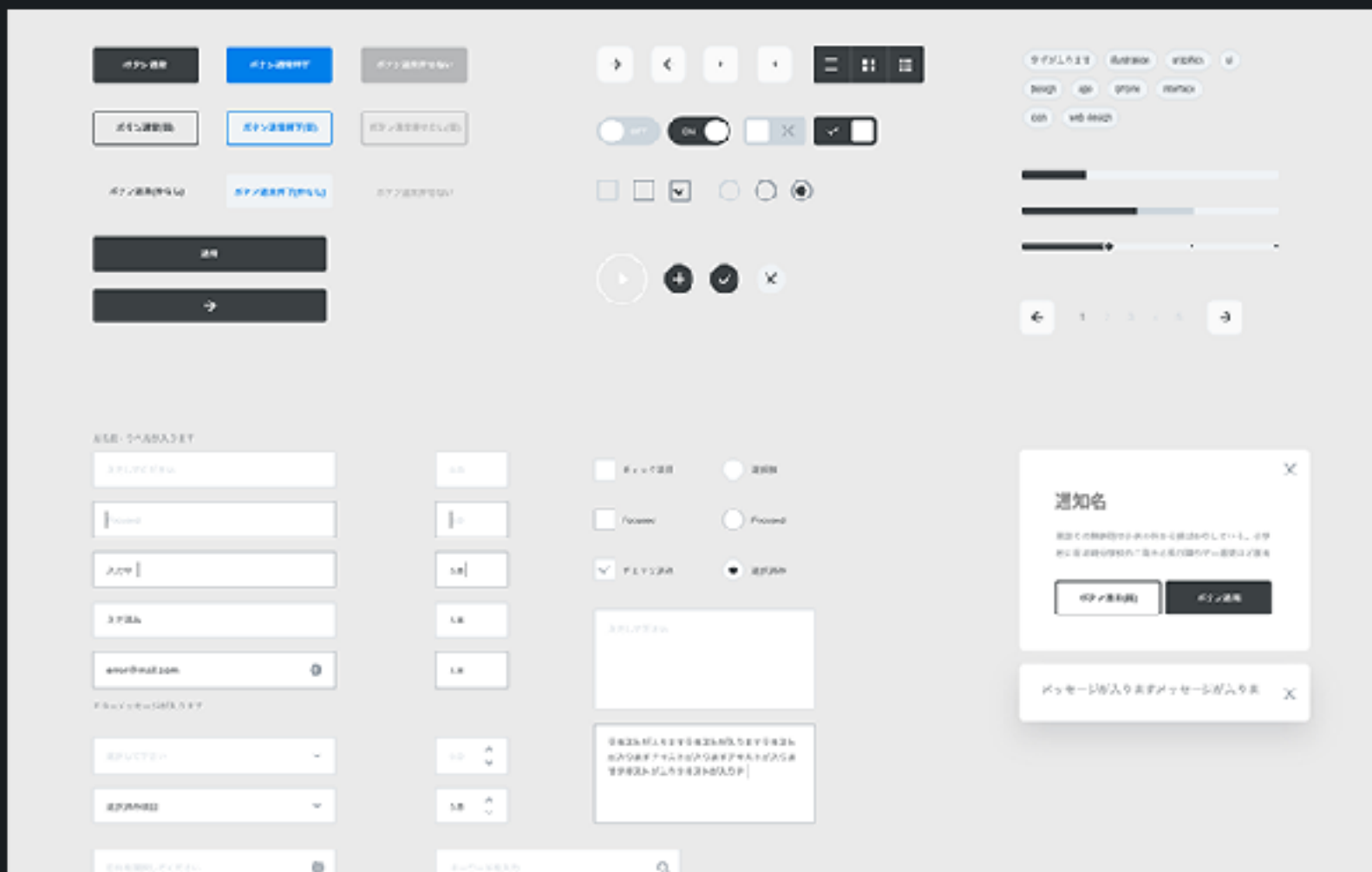
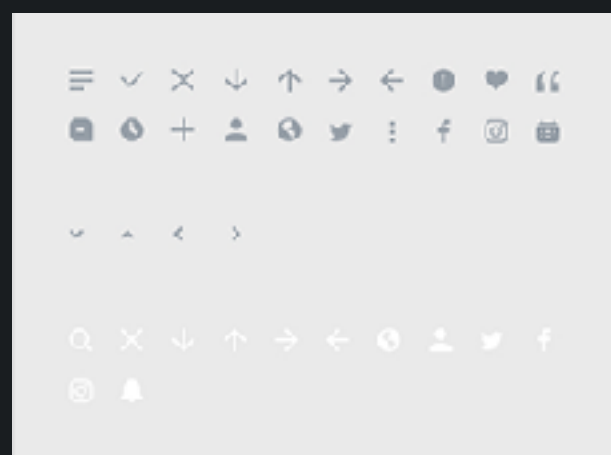
クライアントやプロジェクトメンバーに
XDを導入することによって得られる価値を
伝えることを忘れずに

One more thing...

Wires.jp



Wires.jp



ディレクターにもうれしい、ワイヤーフレームUIキット
Wires jp 配布開始！



<https://www.behance.net/gallery/67284971/Wires-jp>

ありがとうございました



@katsutaro